

# 2021年度事業報告

## I 法人本部事務局

### 1 本部の機能強化及び施設の円滑かつ効率的な運営支援

#### (1) コンプライアンスの遵守及びガバナンスの強化

2021年10月、定期的な内部監察として、①文書管理、②新型コロナウイルス感染症関連の補助金の積極的な活用、③年次有給休暇の取得、④健康診断の受診、⑤マイカー通勤の利用等の状況について重点的に調査し、適正な業務執行を促した。

また、感染防止対策を図りながら、毎月1回、理事長及び幹部職員が一堂に会して本部会議を開催し、情報を共有するとともに経営課題について議論した。

#### (2) 中期経営計画の着実な実現

中期経営計画における重要取組課題の執行状況を的確に把握し、計画の着実な実行を図るため、上半期の達成状況と課題については9月の本部会議及び経営会議で、下半期については3月の本部会議及び経営会議において理事長に報告した。

#### (3) 信頼と協力を得るための情報発信

法人パンフレットを全面改訂（5月）して、人材募集に係る就職説明会や学校訪問時に活用した。

また、前年度の法人ホームページの改訂を完了したことに伴い、法人及び各施設の運営について広く企業や市民の理解と協力を得るため、ホームページ上での寄附の募集を行う整備を進めた。

#### (4) テレワーク環境の構築

在宅勤務時に自宅から法人内ネットワークにアクセスできるよう、システム環境の設定やパソコン等の機器使用管理の規準を作成し、経常業務の継続性を確保した。

### 2 健全な財務規律の確立及び業務改善の推進

#### (1) 財務諸表における信頼性の維持

仕訳の誤りを是正し、より適正な会計処理を実現するため、仕訳に関する規準や処理手続を経理細則に追加するための整備を行った。

#### (2) 有効な経営分析と経営指標の確立

中期（2021～2025年）の人件費推移予測を分析し、健全な資金運用計画を確認した。

【中期の人件費推移予測】

単位：百万円

年 度	2021	2022	2023	2024	2025
人 件 費	4,141	4,548	4,560	4,572	4,585
人件費率	73.1%	73.7%	72.7%	72.9%	73.0%

#### (3) 持続的な法人経営のための新企画提案

総合相談支援センター構想について、事業所としての採算性が厳しいことが判明したため、執行体制の見直しや他の事業所（例えば訪問介護、訪問看護）等との併設による開設など、新たな発想のもとに改めて開所計画を検討することとした。

### 3 中・長期的な観点からの人材の確保・定着

#### (1) 横浜医療福祉センター港南 5 棟目開棟等を支える採用戦略の展開

横浜医療福祉センター港南の 5 棟目開棟に向けて、「採用戦略プロジェクト」を中心に年間を通じ学校訪問(22 件)、就職セミナーへの参加(3 件)、就職サイト等広報媒体の活用などの手段を講じ、積極的な職員採用活動を実施した。その結果、必要人数をほぼ確保することができた。

また、各施設の安定的な運営体制を確保のための人員の確保も同様に行った。

#### (2) コロナ禍に対応した人材育成策の実施

コロナ禍における研修及び人材育成のあり方を見直し、動画視聴や e-ラーニングを導入可能な範囲で行った。4 月の新採用者及びその後の中途採用者の研修については、対象者全員が e-ラーニングにより受講した。引き続き、時代の変化に対応した研修及び人材育成手法を検討、実施していく。

#### (3) 労働環境の健全化に向けた取組

貴重な人材の定着を図るため、年次有給休暇の取得向上や超過勤務の縮減などの時間適正化の取組を進め、ワークライフバランスのとれた働きやすい職場づくりを進めた。有給休暇の取得の促進については、取得期間に制限があった夏季休暇を有給休暇に一元化し、より取得しやすい制度への変更を行った。

また、超過勤務の縮減については、「前年度 30%減」を達成した 2020 年度と同水準の時間数を維持した。

#### (4) 人事、労務、給与に関する新制度の確実な定着化の推進

2020 年度に全部改正した就業規則、給与規程、非常勤職員就業規則等に基づく職員制度及び新給与制度を、適正に運用するとともに定着化を図られるよう努めた。

2021 年度中の職員の採用・退職の状況、及び 2022 年 4 月 1 日現在の職種別職員の状況は以下のとおり。

<2021 年度 職員の採用・退職の状況>

雇用形態	職種	採用	退職
常勤 限定常勤	看護師	45( 9)	28
	生活支援員	31(10)	30
	その他職種	14( 6)	23
	計	90(25)	81
非常勤	看護助手等	58( 8)	30
合計		148(33)	111

( )内は内数で 4/1 採用者

<職種別職員の状況 2022年4月1日現在>

職種	人数	職種	人数	職種	人数
看護師	225	臨床心理士	13	清掃員	5
准看護師	2	音楽療法士	1	事務クレーク	6
生活支援員	231	管理栄養士	6	看護助手	20
医師	84	福祉相談員	25	生活支援員補助	2
歯科医師	10	保育士	39	登録ヘルパー	6
薬剤師	9	児童指導員	6	薬剤事務員	1
診療放射線技師	4	事務員	48	調理員	3
臨床検査技師	4	受付事務員	2	歯科衛生士	6
理学療法士	26	運転員	24	臨床工学技士	1
作業療法士	16	事務当直員	11		
言語聴覚士	15	洗濯員	10	計	861

※限定常勤及び非常勤の職員を含む

## Ⅱ 横浜医療福祉センター港南運営事業

新型コロナウイルス感染症の事業運営への影響を危惧したが、職員の対応努力により全体的にはサービスを低下させることなく目標値を上回る運営ができた。長期入所について6人の逝去や家庭復帰による退所があったが、新規の入所調整を速やかに行い、目標値を2.3%下回るだけの結果にとどめた。短期入所については目標値を5%、外来診療についても7.8%上回り、全体では10.5%上回ることができた。

5棟目に向けての人材確保については採用プロジェクトを立ち上げ、学校訪問や、紹介会社への説明会を開催し採用を進め、支援員について若干の欠員があるものの、年度末までは全棟開棟に必要な人員を大枠で確保することができた。

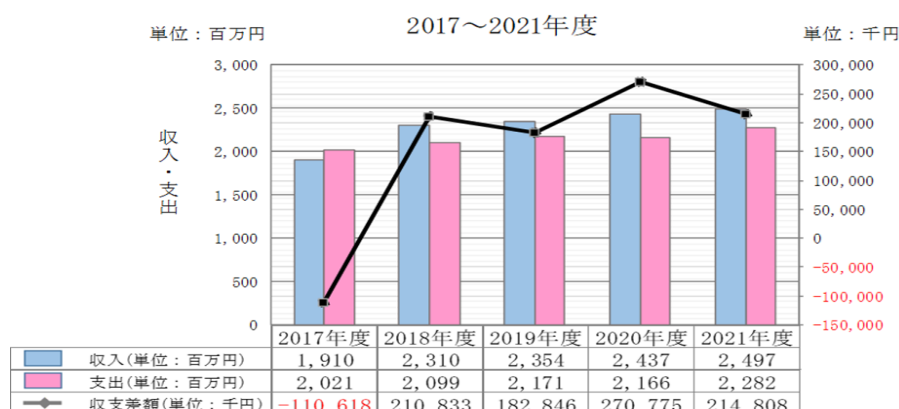
収支については、長期入所者の退所による減収はあったものの、外来、短期入所は予算を上回る収入となり、年度末に横浜市から事前雇用費の補助金収入があり、支出については欠員による人件費が大幅減となり結果として事業収支は予算額を大幅に上回る結果となった。

全棟開棟後の安定運営に向けては、医療度の高い利用者の入所が予定されることに伴い、特に人工呼吸器装着利用者を安全に受け入れていくために看護師の増員配置、臨床工学技士の配置のための補助金要請を横浜市に行い、開棟後から交付されることとなり、今後の職場環境の改善にも寄与することになると思われる。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	118.8名/日	116.1名/日	97.7%
短期入所	8.0名/日	8.4名/日	105.0%
入院	0.3名/日	0.0名/日	0.0%
外来診療	98.0名/日	105.6名/日	107.8%

### 2 資金収支差額の推移



外来診療収入が好調であり、職員事前雇用費や新型コロナウイルス感染症関連の補助金の入金があったこと、また人件費が抑えられたことにより、収支差額は214,808千円で予算を上回った。

### 3 センター全体の実績

#### (1) 長期・短期・入院利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 (120床)	定数	3,600	3,720	3,600	3,720	3,720	3,600	3,720	3,600	3,720	3,720	3,360	3,720	43,800	43,800	100.0%
	実績数	3,450	3,577	3,421	3,576	3,545	3,458	3,618	3,560	3,634	3,612	3,268	3,650	42,369	43,011	98.5%
	1日平均	115.0	115.4	114.0	115.4	114.4	115.3	116.7	118.7	117.2	116.5	116.7	117.7	116.1	117.8	98.5%
	占床率	95.8%	96.2%	95.0%	96.1%	95.3%	96.1%	97.3%	98.9%	97.7%	97.1%	97.3%	98.1%	96.7%	98.2%	98.5%
短期 (6+α床)	定数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2,190	2,190	100.0%
	実績数	244	253	252	244	261	265	263	262	259	233	247	293	3,076	2,484	123.8%
	1日平均	8.1	8.2	8.4	7.9	8.4	8.8	8.5	8.7	8.4	7.5	8.8	9.5	8.4	6.8	123.9%
	占床率	135.6%	136.0%	140.0%	131.2%	140.3%	147.2%	141.4%	145.6%	139.2%	125.3%	147.0%	157.5%	140.5%	113.4%	123.9%
入院 (2床)	定数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730	730	100.0%
	実績数	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12	61	19.7%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	16.4%
	占床率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	8.4%	19.6%
総合計 (128床)	定数	3,840	3,968	3,840	3,968	3,968	3,840	3,968	3,840	3,968	3,968	3,584	3,968	46,720	46,720	100.0%
	実績数	3,694	3,830	3,673	3,820	3,806	3,723	3,881	3,834	3,893	3,845	3,515	3,943	45,457	45,556	99.8%
	1日平均	123.1	123.5	122.4	123.2	122.8	124.1	125.2	127.8	125.6	124.0	125.5	127.2	124.5	124.8	99.8%
	占床率	96.2%	96.5%	95.7%	96.3%	95.9%	97.0%	97.8%	99.8%	98.1%	96.9%	98.1%	99.4%	97.3%	97.5%	99.8%

#### (2) 外来利用状況

##### 外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	614	504	658	651	689	734	670	793	769	662	681	887	8,312	6,809	122.1%
耳鼻科	48	45	52	49	46	46	35	36	45	31	37	55	525	549	95.6%
リハビリテーション課	1,012	940	1,088	1,003	1,069	1,039	1,051	1,066	1,044	912	587	1,130	11,941	10,561	113.1%
整形外科	31	22	33	32	31	30	36	30	29	32	24	35	365	347	105.2%
皮膚科	4	10	13	9	5	9	10	7	8	5	6	14	100	81	123.5%
精神科	26	30	33	34	39	44	36	42	42	46	35	43	450	332	135.5%
歯科	192	160	176	154	183	169	175	177	170	144	129	166	1,995	1,776	112.3%
短期外来	240	257	249	245	297	282	277	263	247	230	246	290	3,123	2,439	128.0%
外来者総数	2,167	1,968	2,302	2,177	2,359	2,353	2,290	2,414	2,354	2,062	1,745	2,620	26,811	22,894	117.1%
1日平均	98.5	103.6	100.1	99.0	107.2	112.0	109.0	115.0	112.1	103.1	91.8	113.9	105.6	89.8	117.5%

#### (3) 地域交流

##### ① ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	12	10	10	11	11	16	11	16	9	12	1	3	122	93	131.2%
活動延べ回数	12	10	10	11	11	15	11	17	9	12	1	3	122	57	214.0%

今年度も引き続き、居住棟及び日中活動室へのボランティアや、ホールでのイベント開催を中止した。但し、感染ステージによって、理美容は業者と打ち合わせをしながら実施し、裁縫ボランティアに関しては、一部持ち帰りにて実施した。また、「学生ボランティアによる演奏会」をオンラインで開催し、横浜美術館からの寄附品で、学童期の特別創作を行った。

今年度よりボランティア地域交流委員会内で企画することとなった「とちのき祭」は、センター内でのイベントとして、センター全体で取り組みを行った。裁縫ボランティアは、コロナ禍でも利用者のために活動を継続したため、センターから表彰された。

ボランティア募集に際して、希望者から応募はあるが、再開連絡待ちの状況となっている。



裁縫ボランティア



オンライン演奏会



横浜美術館子どものアトリエ



とちのき祭①



とちのき祭②

公開講座 ※とちのき講座

新型コロナウイルス感染症防止の観点から今年度は中止とした。

#### 4 各部署の報告

##### (1) 診療部門

4月より小児科医師を1名採用した。

新型コロナウイルス感染症に対しセンターにおける感染マニュアルを適宜更新（現在第14.2版）し感染防止対策に取り組んだ。長期入所児者や職員等の新型コロナウイルス感染症の感染事例は23件あったが、感染防止対策を徹底し、いずれも大きな感染拡大になることなく終息に至った。また、新型コロナワクチン接種の2・3回目を中心に、職員・入所児者・外来利用者・職員家族等を対象に約700人が接種し、感染防止対策に取り組んだ。

長期入所児者は悪性腫瘍等により2名逝去するなど重症化、医療度は年々増している。診療課では個々の症状の共有・検討等を定期的に行うとともに、がん検診（腫瘍マーカー検査）の実施や、疼痛緩和のための麻薬投与を行った。

外来診療は、新型コロナウイルス感染症による影響で急なキャンセルなども多かったが、リハビリ総合評価診察の徹底や、電話診療の活用により各科で診療件数は増加した。また、外来利用児者ニーズに合わせ、年度当初より精神科医師（非常勤）を増員して、件数を増やしたこともあり、目標値117.8%と大幅に増加した。

##### (2) 診療支援部門

##### ①リハビリテーション課

##### ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	552	519	591	550	554	547	559	587	549	469	329	639	6,445	5,423	118.8%
	作業療法	279	291	370	331	379	337	353	326	322	290	161	362	3,801	2,704	140.6%
	言語聴覚療法	284	245	293	280	309	282	296	295	310	260	136	303	3,293	2,736	120.4%
	臨床心理	139	119	151	130	131	129	139	138	123	138	109	180	1,626	1,157	140.5%
入所	理学療法	182	238	288	253	247	279	310	341	232	212	131	163	2,876	2,414	119.1%
	作業療法	8	20	56	55	32	56	57	32	32	33	37	27	445	317	140.4%
	言語聴覚療法	104	76	126	97	45	89	106	108	83	84	26	76	1,020	1,143	89.2%
	臨床心理	44	30	24	21	29	25	24	19	16	26	13	14	285	500	57.0%
合計	理学療法	734	757	879	803	801	826	869	928	781	681	460	802	9,321	7,837	118.9%
	作業療法	287	311	426	386	411	393	410	358	354	323	198	389	4,246	3,021	140.5%
	言語聴覚療法	388	321	419	377	354	371	402	403	393	344	162	379	4,313	3,879	111.2%
	臨床心理	183	149	175	151	160	154	163	157	139	164	122	194	1,911	1,657	115.3%
	総合計	1,592	1,538	1,899	1,717	1,726	1,744	1,844	1,846	1,667	1,512	942	1,764	19,791	16,394	120.7%
	1日平均件数	72.4	80.9	82.6	78.0	82.2	83.0	92.2	87.9	83.4	79.6	52.3	80.2	79.6	64.3	123.7%

イ 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	14	10	9	2	3	9	8	10	8	6	5	14	98	92	106.5%
作業療法	18	10	17	7	7	11	9	16	15	11	7	10	138	115	120.0%
言語聴覚療法	13	9	17	14	3	16	10	4	10	8	7	12	123	94	130.9%
臨床心理	12	10	24	17	8	10	21	4	10	11	10	12	149	101	147.5%
合計	57	39	67	40	21	46	48	34	43	36	29	48	508	402	126.4%

ウ スタッフの派遣

今年度は感染状況から派遣事業は中断した。

エ 職員数

- ・理学療法士 常勤 10名 非常勤 1名 1名退職 (10月末)
- ・作業療法士 常勤 5名 非常勤 2名 (1名育休中) 1名退職 (3月末)
- ・言語聴覚士 常勤 6名 1名退職 (3月末)
- ・臨床心理士 常勤 3名

オ その他

新型コロナウイルス感染症に伴う棟閉鎖や、職員の罹患等により入所や外来リハが頻回に中止となった。2022年1月末からは、感染対策として、同職員が各所で交流しないよう外来と病棟を担当制にした。

②薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科	処方箋枚数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	25.0%
	処方件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	8	12.5%
	調剤数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	8	12.5%
神経小児科	処方箋枚数	0	0	1	1	0	1	0	3	2	0	0	0	8	7	114.3%
	処方件数	0	0	1	2	0	1	0	5	2	0	0	0	11	12	91.7%
	調剤数	0	0	1	2	0	1	0	5	2	0	0	0	11	13	84.6%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%
内科	処方箋枚数	0	0	0	0	34	17	14	0	0	0	0	0	65	0	
	処方件数	0	0	0	0	34	17	14	0	0	0	0	0	65	0	
	調剤数	0	0	0	0	34	17	14	0	0	0	0	0	65	0	
神経内科	処方箋枚数	0	0	0	0	9	0	0	0	1	0	0	1	11	9	122.2%
	処方件数	0	0	0	0	9	0	0	0	1	0	0	1	11	9	122.2%
	調剤数	0	0	0	0	9	0	0	0	1	0	0	1	11	9	122.2%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
精神科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
皮膚科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
救急外来	処方箋枚数	0	2	0	0	4	0	1	0	0	1	0	1	9	4	225.0%
	処方件数	0	3	0	0	7	0	3	0	0	1	0	2	16	7	228.6%
	調剤数	0	3	0	0	7	0	3	0	0	1	0	3	17	8	212.5%

入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	411	350	295	392	258	310	372	282	338	318	260	328	3,914	3,960	98.8%
	処方件数	1,436	1,232	798	1,380	541	996	1,153	726	986	875	910	1,034	12,067	13,537	89.1%
	調剤数	2,154	1,910	1,182	2,082	807	1,554	1,800	1,135	1,466	1,306	1,378	1,562	18,336	20,777	88.3%
2E棟	処方箋枚数	449	224	378	474	340	327	292	358	379	405	297	482	4,405	4,352	101.2%
	処方件数	1,360	630	999	1,545	882	995	932	1,026	913	1,138	701	1,657	12,778	12,880	99.2%
	調剤数	1,797	831	1,359	2,017	1,121	1,343	1,234	1,345	1,160	1,507	868	2,155	16,737	16,838	99.4%
2W棟	処方箋枚数	329	403	269	314	431	264	364	346	377	313	359	338	4,107	4,433	92.6%
	処方件数	1,066	1,681	974	1,017	1,591	516	1,225	1,029	1,257	925	1,330	852	13,463	14,363	93.7%
	調剤数	1,557	2,447	1,451	1,496	2,342	673	1,844	1,491	1,860	1,402	2,034	1,201	19,798	20,603	96.1%
3E棟	処方箋枚数	241	340	300	269	426	341	199	425	275	172	263	440	3,691	4,116	89.7%
	処方件数	484	1,262	820	692	1,549	1,137	380	1,462	927	439	835	1,467	11,454	12,342	92.8%
	調剤数	663	1,962	1,246	931	2,329	1,646	488	2,172	1,375	662	1,249	2,236	16,959	17,652	96.1%

イ 注射院内処方

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	126	119	148	94	94	70	83	40	44	53	86	80	1,037	975	106.4%
	処方件数	434	352	399	294	205	163	189	83	118	135	242	208	2,822	2,822	100.0%
	調剤数	660	570	617	478	310	238	267	118	170	188	352	300	4,268	4,181	102.1%
2E棟	処方箋枚数	70	84	95	88	62	57	116	112	138	108	64	101	1,095	554	197.7%
	処方件数	210	206	208	243	330	258	418	454	559	384	210	292	3,772	1,318	286.2%
	調剤数	302	273	262	352	509	389	619	710	900	614	340	482	5,752	1,854	310.2%
2W棟	処方箋枚数	45	90	69	53	96	79	126	162	74	107	55	85	1,041	666	156.3%
	処方件数	113	206	208	118	230	218	285	282	143	247	123	192	2,365	1,699	139.2%
	調剤数	163	278	286	166	318	344	468	353	192	334	167	259	3,328	2,416	137.7%
3E棟	処方箋枚数	22	21	15	10	89	109	54	113	58	107	82	108	788	628	125.5%
	処方件数	58	30	32	10	197	224	140	169	85	203	229	271	1,648	1,281	128.6%
	調剤数	78	41	43	10	311	333	216	220	89	255	331	359	2,286	1,788	127.9%

③検査課

ア 院内検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	3	3	14	6	4	1	5	9	4	2	5	6	62	46	134.8%
血算	43	31	46	35	32	20	36	40	33	17	27	40	400	398	100.5%
電解質	34	25	42	30	28	15	36	35	30	15	25	36	351	320	109.7%
血中薬物濃度	20	18	27	20	12	13	25	24	22	4	13	23	221	275	80.4%
血液ガス分析	2	3	6	5	0	0	2	6	0	1	1	3	29	25	116.0%
尿定性	12	16	22	14	15	11	23	17	11	8	7	17	173	163	106.1%
尿沈渣	10	12	19	9	14	10	22	14	9	6	6	16	147	142	103.5%
迅速検査	0	2	9	3	1	0	4	5	0	2	3	2	31	25	124.0%
新型コロナウイルス抗原	0	2	2	2	2	0	2	4	0	3	7	4	28	22	127.3%
新型コロナウイルス核酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	32	41	82		
肝炎ウイルス検査	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	3	0	15	15	100.0%
心電図	0	5	5	3	1	3	1	2	2	2	3	2	29	19	152.6%
心電図+CVRR	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	133.3%
脳波	10	5	8	11	7	6	6	5	6	6	4	11	85	98	86.7%
聴力検査	2	1	2	0	2	1	0	0	0	0	1	0	9	10	90.0%
超音波検査	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	200.0%
安静時代謝量測定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
合計	138	123	214	139	119	80	163	161	117	75	137	202	1,668	1,563	106.7%



入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	82	99	103	90	107	99	120	112	97	113	83	109	1,214	1,124	108.0%
血算	83	106	104	91	111	103	121	112	100	116	85	110	1,242	1,169	106.2%
電解質	73	91	83	71	94	87	102	100	87	106	73	84	1,051	957	109.8%
血中薬物濃度	15	18	36	23	41	22	33	40	30	28	12	23	321	438	73.3%
血液ガス分析	44	62	70	63	81	103	79	64	72	76	61	75	850	751	113.2%
尿定性	27	49	37	36	36	35	39	29	32	34	28	35	417	382	109.2%
尿沈渣	22	40	29	31	30	27	25	22	25	25	27	24	327	316	103.5%
迅速検査	51	71	73	34	54	40	49	38	58	53	38	68	627	582	107.7%
新型コロナウイルス抗原	5	12	13	6	16	6	6	6	10	17	22	30	149	149	100.0%
新型コロナウイルス核酸	0	0	0	0	0	0	0	1	9	20	20	7	57		
肝炎ウイルス検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.0%
心電図	6	10	11	10	11	7	11	3	12	8	2	3	94	93	101.1%
心電図+CVRR	2	0	1	0	2	0	1	1	1	2	0	0	10	6	166.7%
脳波	4	5	3	0	1	3	2	3	2	2	0	2	27	45	60.0%
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
超音波検査	4	6	6	4	8	4	0	5	6	3	0	3	49	48	102.1%
神経伝導速度測定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
合計	418	569	569	459	592	536	588	536	541	603	451	573	6,435	6,065	106.1%

イ 外注検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	771	536	781	655	553	352	758	639	601	264	480	784	7,174	7,090	101.2%
細菌培養	1	2	3	0	0	2	1	3	1	1	2	0	16	10	160.0%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0%
新型コロナウイルスPCR	3	0	3	0	17	12	1	0	0	44	145	49	274	8	3425.0%
合計	775	538	787	655	570	366	760	642	602	309	627	833	7,464	7,111	105.0%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	810	1226	1282	1125	1588	1281	1464	1344	1508	1374	933	1212	15,147	14,486	104.6%
細菌培養	36	51	64	45	54	46	64	56	38	70	43	58	625	555	112.6%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	5	20.0%
新型コロナウイルスPCR	5	4	4	5	4	3	5	8	0	35	91	22	186	43	432.6%
合計	851	1,281	1,350	1,175	1,646	1,331	1,533	1,408	1,546	1,479	1,067	1,292	15,959	15,089	105.8%

職員体制：臨床検査技師 2名（常勤 2名）

2021年11月より、NEAR法による新型コロナウイルス核酸検査を導入した。濃厚接触者・無症状者及び短期入所者の入所前スクリーニング検査として適用した。その他、職員の就業前確認検査や、勤務中の体調不良による抗原確認検査を開始した。更に、院内職員・利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性となった際、感染拡大防止のために関係者の委託PCR検査を実施したため、検査件数は大幅に増加した。

④放射線課

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	2	1	0	3	3	5	2	3	0	1	3	2	25	11	227.3%
一般撮影	34	32	46	42	36	27	38	43	38	40	24	44	444	436	101.8%
ポータブル撮影	0	2	5	0	0	0	0	1	0	0	1	2	11	8	137.5%
透視検査	0	2	0	2	0	2	0	1	1	0	1	1	10	20	50.0%
超音波検査(BTX)	33	30	31	28	31	33	30	26	32	33	29	34	370	360	102.8%
画像ファイル	8	10	10	10	7	8	9	13	13	8	11	12	119	78	152.6%
歯科デンタル	8	5	14	1	9	4	3	6	5	2	5	3	65	61	106.6%
合計	85	82	106	86	86	79	82	93	89	84	74	98	1,044	974	107.2%

入院

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	11	26	18	9	23	14	18	23	20	17	2	8	189	240	78.8%
一般撮影	16	24	24	27	28	26	27	41	21	22	8	26	290	248	116.9%
ポータブル撮影	64	53	71	54	80	53	69	55	71	82	61	65	778	767	101.4%
透視検査	11	6	9	5	9	7	11	12	11	6	5	5	97	183	53.0%
超音波検査(BTX)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
画像ファイル	4	7	2	3	7	6	5	8	11	6	1	5	65	67	97.0%
歯科デンタル	5	1	2	7	6	3	2	2	3	3	1	1	36	22	163.6%
合計	111	117	126	105	153	109	132	141	137	136	78	110	1,455	1,527	95.3%

⑤ 栄養課

ア 入所食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	3,807	3,830	3,748	3,858	3,791	3,524	3,712	3,640	3,840	3,726	3,451	3,792	44,719	47,404	94.34%
胃瘻食朝	1,081	1,032	1,023	1,064	1,044	1,015	1,088	1,084	1,112	1,123	1,046	1,151	12,863	11,493	111.92%
胃瘻食昼	1,409	1,383	1,375	1,418	1,364	1,412	1,520	1,414	1,400	1,438	1,368	1,493	16,994	16,342	103.99%
胃瘻食夕	1,274	1,266	1,249	1,310	1,259	1,295	1,380	1,339	1,388	1,379	1,274	1,405	15,818	14,710	107.53%
経管栄養食	12,542	12,928	12,149	12,850	12,876	12,713	13,065	12,854	12,793	12,420	11,235	12,531	150,956	151,896	99.38%
日中一時支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
嚥下外来食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	20,113	20,439	19,544	20,500	20,334	19,959	20,765	20,331	20,533	20,086	18,374	20,372	241,350	241,845	99.80%

イ 栄養指導

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
肥満	加算	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	20.00%
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
低栄養	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摂食嚥下障害	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	2	150.00%
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	加算	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	5	7	71.43%
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-

入所食数の経口食は前年比 5.7%減少し、胃瘻食は3%～11%増加した。経管栄養食はほぼ横ばい。

栄養指導は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度を下回る結果となった。

(3) 居住支援部門

① 長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規入所受入れ	1	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	6	0	
1E棟	724	754	690	712	703	690	715	713	708	740	682	736	8,567	8,753	97.9%
2E棟	914	952	908	977	961	934	975	960	981	954	868	992	11,376	11,435	99.5%
2W棟	870	910	893	933	920	900	936	931	983	961	870	961	11,068	11,278	98.1%
3E棟	942	961	930	954	961	934	992	956	962	957	848	961	11,358	11,545	98.4%
小計	3,450	3,577	3,421	3,576	3,545	3,458	3,618	3,560	3,634	3,612	3,268	3,650	42,369	43,011	98.5%
1日平均(日/床)	115.0	115.4	114.0	115.4	114.4	115.3	116.7	118.7	117.2	116.5	116.7	117.7	116.1	117.8	98.5%

② 日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	0	35	48	36	17	16	23	38	31	31	13	21	309	482	64.1%
参加人数(人) 延べ	0	186	239	189	84	78	108	191	159	148	53	114	1,549	2,843	54.5%

2月、3月は、利用者及び職員の新型コロナウイルス感染症の発症者により、活動中止が続いた。

【活動内容】 ボーリング、スヌーズレン、リフレクソロジー、創作、キムチづくり、書初め、オンライン活動



キムチ作り①



キムチ作り②



キムチ作り③



キムチ作り④



書初め①



書初め②



オンライン活動①



オンライン活動②

(4) 在宅支援部門

①短期・入院利用等実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
短期入所(延数)															
1E棟	244	253	250	244	226	265	263	258	248	226	219	247	2,943	2,460	119.6%
2E棟	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	14	28.6%
2W棟	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	2	400.0%
3E棟	0	0	0	0	32	0	0	4	11	7	28	39	121	7	1728.6%
小計	244	253	252	244	261	265	263	262	259	233	247	293	3,076	2,483	123.9%
1日平均(日/床)	8.1	8.2	8.4	7.9	8.4	8.8	8.5	8.7	8.4	7.5	8.8	9.5	101	82	124.1%
申し込み(件数)	33	29	39	42	41	52	35	43	42	44	50	60	510	319	159.9%
利用不可(件数)※	0	0	0	3	3	10	1	5	2	6	15	16	61	15	406.7%
入院 1E棟のみ	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12	61	19.7%

※満床等の理由により入所対応ができなかった件数

利用申し込みが利用の2か月前に行われるため、緊急事態宣言からまん延防止等重点措置期間に切り替わった直後の4、5月は申し込みを控える傾向にあった。その後、8月～9月にかけて緊急事態宣言が再発令されるも極端な落ち込みはなく、また短期入所受入れ当日に新型コロナウイルス感染症の検査(NEAR法検査)を1月下旬から行うことで安心して受け入れられる体制となり、安定的になっている。

②医療福祉相談室

相談調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
受診相談	140	119	113	126	102	81	120	98	105	136	97	131	1,368	1,275	107.3%
関係機関調整	138	114	153	103	116	127	146	140	145	143	104	169	1,598	1,438	111.1%
一般相談(※二次相談含む)	24	38	54	67	44	73	74	91	108	52	46	116	787	628	125.3%
短期入所・相談調整	255	223	271	271	274	200	257	219	211	267	246	261	2,955	2,366	124.9%
計画相談支援・相談調整	58	38	50	46	62	49	48	51	53	65	24	56	600	507	118.3%
合計	615	532	641	613	598	530	645	599	622	663	517	733	7,308	6,214	117.6%

計画相談支援業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
立案数	0	5	4	3	1	1	3	9	2	7	4	4	43	20	215.0%
モニタリング数	3	4	4	4	6	9	1	3	5	3	3	9	54	65	83.1%
合計	3	9	8	7	7	10	4	12	7	10	7	13	97	90	107.8%

(5) 安全管理部門

インシデント・アクシデント件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
レベル	0	5	3	1	4	5	2	6	1	4	3	7	3	44	54	81.5%
	1	17	16	23	27	19	16	11	24	14	18	16	22	223	208	107.2%
	2	28	18	19	28	27	16	24	12	16	12	17	17	234	222	105.4%
	3-a	8	10	9	8	7	4	2	6	3	5	2	2	66	84	83.3%
	3-b	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	5	4	125.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	

レベル 3-b 事例 合計 5 件

外来利用者 1 件 長期利用者 3 件 (ストレッチャーから転落による骨折 1 件 受傷起点不明 2 件)

酸素ボンベ開栓忘れによる血中酸素飽和濃度低下 1 件

酸素ボンベ開栓忘れによるインシデントが続くため、酸素ボンベを変更した。

(6) 管理部門

管理課

職員採用状況

職種	医師	看護師	生活支援員	理学療法士	作業療法士	臨床心理士	合計
採用者	1	27	21	2	2	0	53
退職者	0	8	15	1	1	1	26

5 棟目開棟に向けた人材確保のため、採用プロジェクトを立ち上げ看護師・生活支援員の事前雇用を行った。

### Ⅲ 横浜療育医療センター運営事業

2021年度の事業目標として設定した5項目の運営指針に沿って事業報告を行う。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策については、短期利用者からの持ち込みが1件発生したが施設内での感染拡大は防止でき、策定した新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアルの適切な運用により長期利用者を守ることができた。

(2) 在宅支援事業については、通所では利用者と職員のCOVID-19濃厚接触、利用自粛などで縮小を余儀なくされた時期があり目標値を下回ったが、休所することなく継続できた。放課後等デイサービスは欠席者がほとんどなく高い達成率となり、事業として定着できている。リハビリテーションはCOVID-19の影響を強く受けた2020年度のみならず、2019年度と比較しても総訓練件数は大幅な伸びを示しており、また外来診療数も同様に目標値を上回り、実数でも2019年度、2020年度と年度ごとに増加している。

短期入所については、上半期は目標を上回る受け入れができたが、COVID-19第6波が始まった1月以降は職員の新型コロナウイルス感染や濃厚接触が続いたため受け入れを制限した。しかし通年では目標を達成できた。訪問看護ステーションえーるは、ほぼ目標通り、ヘルパーステーションまいは一とは目標を上回った。いずれも新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底しながらの運用が利用者の信頼を得たものと考えられる。

(3) 長期利用者の生活の質の向上、(4) 多職種連携の強化、(5) 職員満足度の向上と人材育成への取り組みについては、常時20名程度の欠員という人的余裕のない中での業務運用を強いられたため、十分な取り組みができなかった。人員確保を含めて2022年度以降の課題とする。

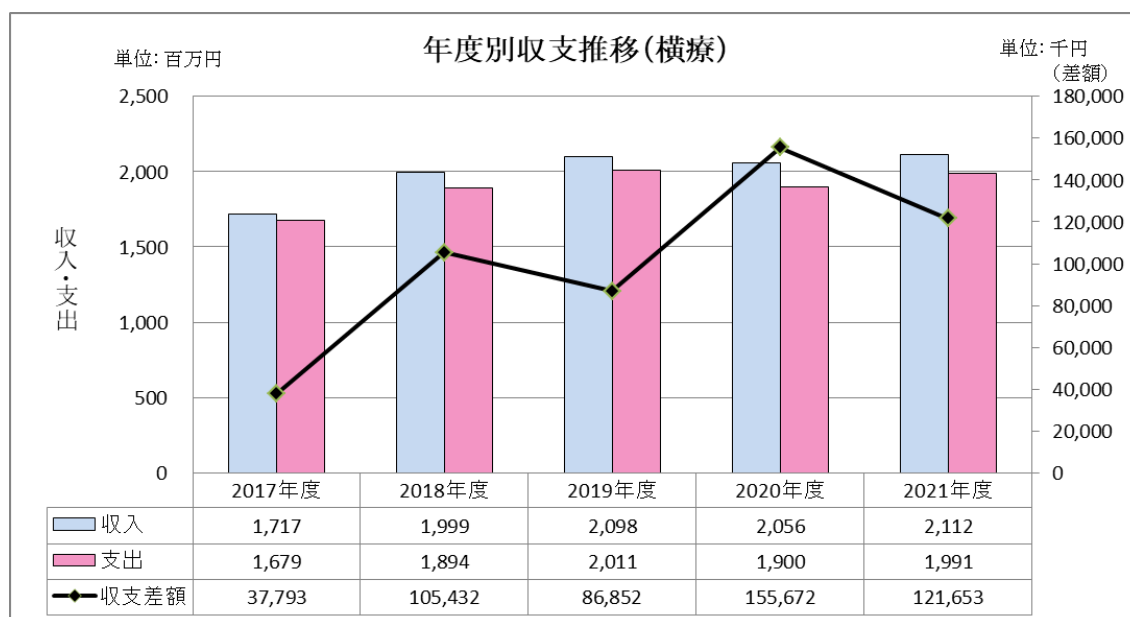
#### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	87名/日	86.7名/日	99.7%
短期入所	14名/日	14.0名/日	100.0%
入院	1名/日	0名/日	0.0%
外来診療 (短期入所外来を含む)	85名/日 (103名/日)	89.1名/日 103.1名/日	104.8% 100.1%
生活介護(通所)	19名/日	17.8名/日	93.7%
訪問看護ステーションえーる	165件/月	161.3名/月	97.8%
放課後等デイサービスはみんぐ	4.0名/日	4.9名/日	122.5%
ヘルパーステーションまいは一と	600件/月	635件/月	105.8%
保育室ひかり	※ 17名/月	16.4名/日	96.5%
病児保育室あさひ	2名/日	2.2名/日	110.0%

※毎月の契約数

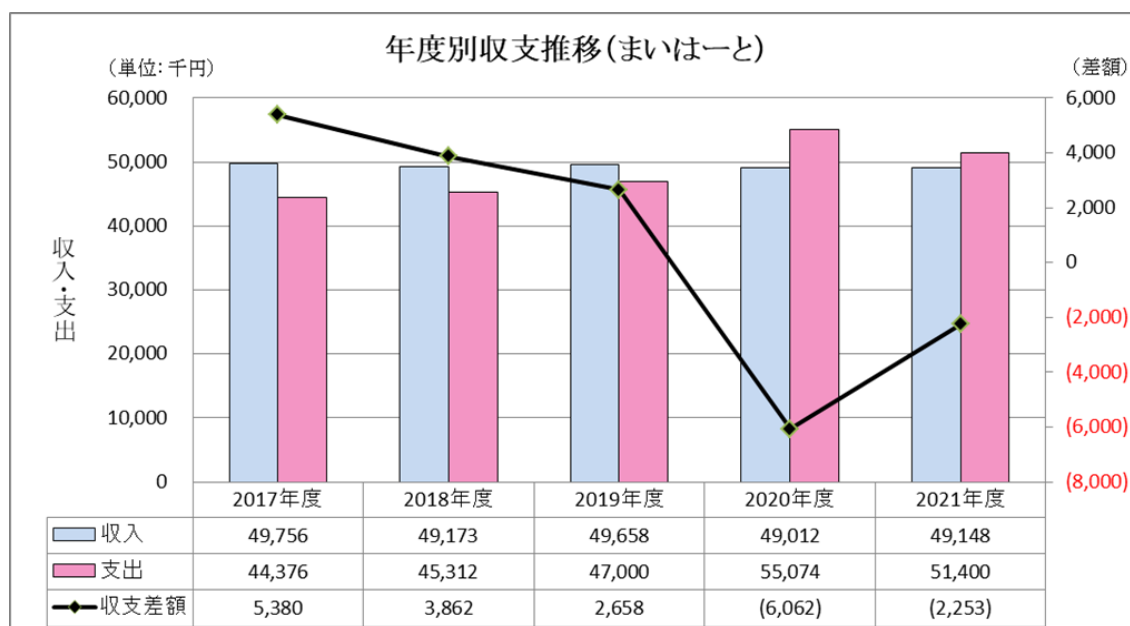
## 2 資金収支差額の推移

### (1) 横浜療育医療センター



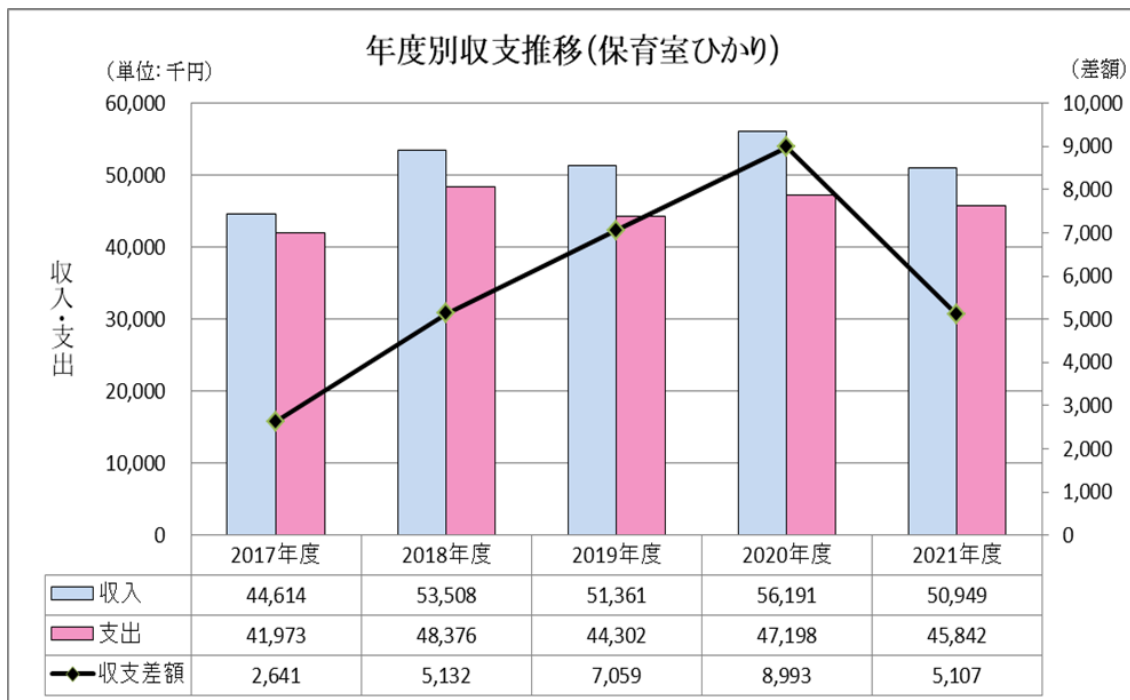
2021年度は、建物設備の新設費用や感染対策費用として支出が増加した。収入については、ワクチン接種の補助金や新型コロナウイルス対策費の補助金等で増加し、収支差額は121,653千円となった。

### (2) ヘルパーステーションまいはーと



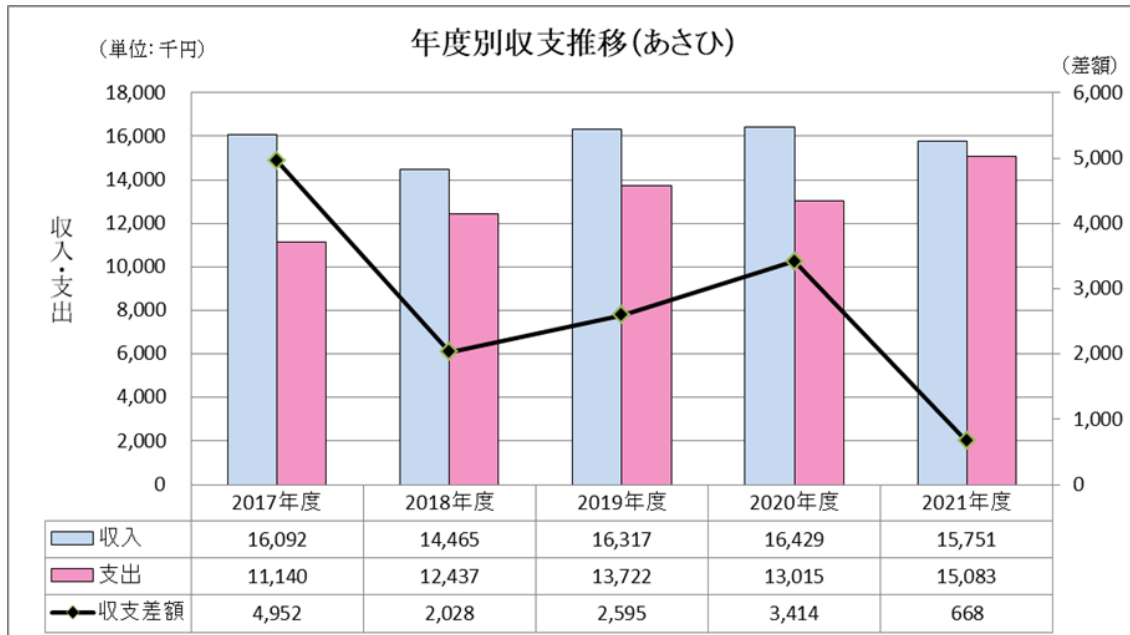
収入は新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも微増となった。支出については、昨年対比で7%削減できたが、収支差額はマイナス2,253千円となった。

(3) 保育室ひかり



2021年度は、登録児童数が12名から始まった事もあり、収入は、2020年度と比較し10%減少した。支出については、3%減少し、収支差額は5,107千円となった。

(4) 病児保育室あさひ



新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少した事により収入減となり、感染対策費として支出が2020年度対比で15%以上増加し、収支差額は668千円となった。

### 3 センター全体の実績

#### (1) 長期・短期入所利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
長期 87床	定数	2,610	2,697	2,610	2,697	2,697	2,610	2,697	2,610	2,697	2,697	2,436	2,697	31,755	31,755	100.0%	
	実績数	2,610	2,697	2,610	2,680	2,666	2,580	2,673	2,610	2,697	2,697	2,436	2,697	31,653	31,427	100.7%	
	1日の平均	87.0	87.0	87.0	86.5	86.0	86.0	86.2	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	86.7	86.1	100.7%	
	占床率	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%	98.9%	98.9%	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%	99.0%	100.7%
短期 15床	定数	450	465	450	465	465	450	465	450	465	465	420	465	5,475	5,475	100.0%	
	実績数	446	482	468	464	493	463	497	452	486	306	240	323	5,120	4,910	104.3%	
	1日の平均	14.9	15.5	15.6	15.0	15.9	15.4	16.0	15.1	15.7	9.9	8.6	10.4	14.0	13.5	104.3%	
	占床率	99.1%	103.7%	104.0%	99.8%	106.0%	102.9%	106.9%	100.4%	104.5%	65.8%	57.1%	69.5%	93.5%	89.7%	104.3%	
入院 3床	定数	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,095	1,095	100.0%	
	実績数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0.0%
	1日の平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0%	
	占床率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	0.0%	
合計 105床	定数	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	2,940	3,255	38,325	38,325	100.0%	
	実績数	3,056	3,179	3,078	3,144	3,159	3,043	3,170	3,062	3,183	3,003	2,676	3,020	36,773	36,431	100.9%	
	1日の平均	101.9	102.5	102.6	101.4	101.9	101.4	102.3	102.1	102.7	96.9	95.6	97.4	100.7	99.8	100.9%	
	占床率	97.0%	97.7%	97.7%	96.6%	97.1%	96.6%	97.4%	97.2%	97.8%	92.3%	91.0%	92.8%	96.0%	95.1%	100.9%	

#### (2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	725	670	753	745	784	730	700	692	706	732	578	894	8,709	7,083	123.0%
耳鼻科	35	31	40	31	15	20	48	24	33	31	14	29	351	392	89.5%
リハビリテーション課	854	877	915	884	878	851	901	927	903	750	633	868	10,241	9,239	110.8%
整形外科	6	9	12	3	12	5	18	11	9	16	12	14	127	145	87.6%
皮膚科	5	10	10	9	6	7	9	5	12	4	5	3	85	88	96.6%
精神科	9	14	15	9	15	11	13	14	14	19	9	18	160	77	207.8%
歯科	130	137	206	155	117	102	164	163	213	163	169	175	1,894	1,731	109.4%
短期外来	447	480	465	464	491	462	497	449	481	305	238	321	5,100	4,825	105.7%
外来者総数	2,211	2,228	2,416	2,300	2,318	2,188	2,350	2,285	2,371	2,020	1,658	2,322	26,667	23,580	113.1%
1日平均(短期除く)	84.0	97.1	88.7	91.8	87.0	86.3	84.2	96.6	94.5	90.3	78.9	87.0	88.8	77.2	115.0%
1日平均(前年度)	57.2	63.9	76.6	81.0	82.6	69.6	77.3	85.4	85.2	81.2	82.8	84.2	77.3	83.1	93.0%

#### (3) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動回数	8	10	12	11	9	8	8	10	11	5	8	6	106	157	67.5%
活動延べ回数	21	24	25	28	22	20	22	25	17	14	16	17	251	343	73.2%

2020年度と同様、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、来所して行うボランティア活動は植栽管理と一部の理美容に制限した。2021年度は、初の試みとしてオンラインでの音楽活動を行った。

### 4 各部署の報告

#### (1) 診療部門

##### ① 外来診療

2021年度も2019年度から続いている新型コロナウイルス感染症の影響を各部門で受け、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を優先せざるを得ない状況であった。外来診療利用者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大期の生活介護や短期入所利用の減少が影響したものの、数値目標の87名/日には到達し、1日平均利用者数は前年度を上回ることとなった。歯科、耳鼻科も感染対策を断続的に講じながら一定数の診療を維持した。コロナ禍2年を経過



し、医療者と利用者が相互に診療継続と中止のバランスを模索した結果といえる。2021年度後半の1～2月は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による職員不足から小児科、リハビリ利用者数が一時的に減少したが、3月以降は回復傾向にあった。

児童精神科は2021年度も徐々に受診者数が増加し、これに比例して小児科外来及びリハビリ、相談室の介入を要する発達障害児者の利用が目立っており、2022年度は外来枠数を増加する予定もあり、増加の傾向が続くと思われる。他施設から新規健康診断の依頼もあるが、診療ブース不足のため対応に苦慮している。

夜間、休日対応については、昨年通り人員不足から平日日中のみの対応とした。2020年度と同様、新型コロナウイルス感染症以外の目立った流行はなかった。

## ②入所・入院・通所

長期入所は7月に1名の他院転院後死亡により1床の空床となったが、11月時点で新規入所があり、満床となった。幸いにも新型コロナウイルス感染症の明らかな発症及び流行性疾患の発生はなく、3回目のワクチン接種も対応可能な副反応のみで滞りなく行えた。全般的には加齢に伴う機能低下が徐々に進行している。

短期入所は2020年度同様、新型コロナウイルス感染症の増加減少に伴い、利用者数が変動した。特に1～2月の人員不足と新型コロナウイルス感染症の拡大が重複した時期に、やむを得ず占床率50%を割り込んだが、2021年度末の棟全体では2020年度と同程度であった。予定入所者数の減少もあり、緊急入所については可能な限りの入所調整を行った。他施設利用困難である呼吸器管理を要する重症児者のレスパイト利用や介護者の疾病による介護困難のための緊急入所は増加傾向にある。

入院は2020年度と同様、職員の欠員と新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、受け入れ困難な状況であった。外来利用者の他院入院後のバックトランスファーなど当院で対応を要する症例についての検討が必要である。

通所は併用施設や職員の新型コロナウイルス感染症の発症者の対応に追われたが、できるだけ濃厚接触を回避するような環境や活動内容の調整を行ったため、利用者間での新型コロナウイルス感染症の発症はなかった。新規利用者の受け入れは行えず、現利用者の増回数や送迎希望者への送迎を実施した。利用者の重症化に伴う送迎の問題は現実的であり、安全な送迎に要する看護師の確保は困難であり、懸案事項である。

(2) 診療支援部門

①リハビリテーション課

ア. 療法実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
外来	理学療法	566	551	638	588	593	574	598	613	589	568	553	619	7,050	5,169	136.0%
	作業療法	294	296	321	314	305	291	305	313	313	322	278	350	3,702	2,890	128.0%
	言語聴覚療法	270	268	310	315	345	300	305	326	326	315	296	352	3,728	2,804	133.0%
	臨床心理	94	87	116	103	93	110	101	96	104	91	72	129	1,196	889	135.0%
	音楽療法	7	7	8	6	6	4	6	7	5	4	6	4	70	45	155.6%
入所	理学療法	110	94	133	120	97	118	137	167	175	144	126	146	1,567	1,472	106.0%
	作業療法	39	24	59	49	34	41	43	33	33	24	32	49	460	562	81.8%
	言語聴覚療法	31	42	48	36	36	37	40	42	35	32	40	41	920	357	257.7%
	臨床心理	3	14	29	6	6	5	5	5	2	0	0	1	76	59	128.0%
	音楽療法	11	11	11	11	10	11	12	11	11	9	10	4	122	135	90.4%
合計	理学療法	676	645	771	708	690	692	735	780	764	712	679	765	8,617	6,641	129.7%
	作業療法	333	320	380	363	339	332	348	346	346	346	310	399	4,162	3,452	120.5%
	言語聴覚療法	301	310	358	351	381	337	345	368	361	347	336	393	4,648	3,161	147.0%
	臨床心理	97	101	145	109	99	115	106	101	106	6	72	130	1,272	948	134.1%
	音楽療法	18	18	19	17	16	15	18	18	16	13	16	8	192	180	106.7%
	総合計	1,436	1,405	1,684	1,559	1,535	1,502	1,552	1,613	1,593	1,515	1,413	1,695	18,502	14,376	128.7%
1日平均件数	68.3	78.0	76.5	77.9	73.0	75.1	73.9	80.6	79.6	79.7	78.5	73.6	76.2	59.3(前年平均)	128.4%	

イ. 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	7	5	4	9	5	4	1	7	7	5	2	5	61	62	98.3%
作業療法	5	5	5	4	5	8	7	5	4	4	1	7	60	82	73.1%
言語聴覚療法	4	4	6	5	6	8	8	8	6	1	3	6	65	90	72.2%
臨床心理	5	6	9	7	6	10	8	11	6	7	2	2	79	98	80.6%
音楽療法	2	0	1	0	1(体験)	1	0	0	0	0	0	0	5	3	166.7%
合計	23	20	25	25	27	31	24	31	23	17	8	28	270	335	80.5%

人員の人数は、人事異動や産休育休などで入替が多少あったものの、言語聴覚士の育休復帰で+1以外は2020年度とほぼ同じ人数での運営となった。2021年度は、緊急事態宣言や蔓延防止措置、学校の分散登校等があった。しかしリハビリ実施の総合計はどの部門も2020年度より大幅に高くなった。要因は、利用者や利用者家族が新型コロナウイルス感染症を発症又は濃厚接触者扱いとなったことによる多少のキャンセルは発生したものの、リハビリに行くことを自粛した利用者が2020年度よりも大幅に減少したこと、施設内でのクラスターが発生することもなく、病棟の閉鎖等も短期間で済んだため、ある程度計画通りに行うことが出来たことである。また、2020年度に時間割の変更や新型コロナウイルス感染症感染防止対策の徹底などを継続的に行ったことで、利用者が安心して安定的なリハビリに通うことが出来たことが大きいのではないかと考えられる。しかし1月以降は近隣においても新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、職員の感染（職員から他へ感染した事例はなし）や、職員の子の保育園や学校が休園休校によりキャンセルになった件数は増加した。2022年度も引き続き新型コロナウイルス感染症関連によるキャンセルが予測される。

音楽療法も、新型コロナウイルス感染症の影響により外来・入所ともにキャンセルの件数が増加した。外来ではキャンセル枠を利用した体験を3名に参加してもらい、枠の関係で1名のみが数回にわたり参加した。

長期入所は個別と3、4名のグループでのセラピーを行い、グループは日中活動室のスタッフとコラボしての活動を行い、毎回振り返りの時間を設けて次回の活動に繋ぐことができた。

②薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科	処方箋枚数	9	23	6	10	16	19	7	10	11	4	4	10	129	62	208.1%
	処方件数	12	28	7	16	16	23	9	14	23	13	9	13	183	100	183.0%
	調剤数	16	28	7	16	20	23	9	15	26	15	9	13	197	107	184.1%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	7	4	7	2	0	5	3	1	3	0	0	0	32	44	72.7%
	処方件数	9	4	7	3	0	6	6	1	3	0	0	0	39	60	65.0%
	調剤数	17	12	16	4	0	6	6	1	3	0	0	0	65	90	72.2%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
救急外来	処方箋枚数	5	7	1	5	14	3	1	2	8	3	4	0	53	41	129.3%
	処方件数	10	10	1	11	14	5	2	3	16	4	9	0	85	71	119.7%
	調剤数	11	14	4	18	23	7	3	4	21	6	12	0	123	100	123.0%
整形外科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
皮膚科	処方箋枚数	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	4	5	80.0%
	処方件数	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	0	0	6	11	54.5%
	調剤数	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	0	0	6	12	50.0%
通所	処方箋枚数	5	7	8	8	0	8	7	7	2	4	2	5	63	59	106.8%
	処方件数	5	7	9	9	0	8	7	7	2	6	2	5	67	63	106.3%
	調剤数	7	8	9	9	0	8	7	9	2	6	2	6	73	68	107.4%

入院

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟	処方箋枚数	230	328	194	280	274	188	200	301	290	297	222	248	3,052	2,853	107.0%
	処方件数	989	1,849	532	1,320	1,479	731	838	1,285	1,200	1,547	1,198	1,146	14,114	11,354	124.3%
	調剤数	1,331	2,491	660	1,717	1,914	986	1,114	1,701	1,566	2,083	1,650	1,510	18,723	16,920	110.7%
B棟	処方箋枚数	197	235	228	225	253	164	171	253	228	199	252	211	2,616	2,306	113.4%
	処方件数	848	1,240	823	944	1,046	682	743	1,092	1,016	971	1,413	821	11,639	9,429	123.4%
	調剤数	1,127	1,682	1,136	1,246	1,362	887	969	1,436	1,255	1,281	1,867	1,049	15,297	12,030	127.2%
C棟	処方箋枚数	335	321	322	258	402	291	357	504	353	387	365	342	4,237	4,186	101.2%
	処方件数	1,636	1,922	1,704	1,395	2,194	1,321	1,626	2,673	1,347	2,135	2,232	1,955	22,140	20,110	110.1%
	調剤数	2,073	2,473	2,212	1,770	2,802	1,668	2,066	3,420	1,673	2,703	2,868	2,523	28,251	27,276	103.6%

イ 注射院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	処方箋枚数	9	29	9	63	249	161	212	416	369	14	30	161	1,722	978	176.1%
	処方件数	9	29	9	63	249	161	212	416	369	14	30	161	1,722	978	176.1%
	調剤数	10	37	11	68	262	160	212	418	379	16	37	161	1,771	1,115	158.8%

入院

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟	処方箋枚数	172	78	41	106	118	3	83	59	30	28	72	47	837	576	145.3%
	処方件数	267	131	67	158	174	3	110	73	45	49	91	62	1,230	874	140.7%
	調剤数	383	187	98	202	252	3	142	75	48	59	98	72	1,619	1,105	146.5%
B棟	処方箋枚数	10	11	35	86	58	22	0	40	0	1	26	0	289	333	86.8%
	処方件数	28	15	73	137	86	44	0	40	0	1	26	0	450	482	93.4%
	調剤数	45	16	108	189	115	60	0	40	0	1	26	0	600	634	94.6%
C棟	処方箋枚数	75	130	214	250	71	137	175	241	120	40	86	76	1,615	2,035	79.4%
	処方件数	138	209	378	329	71	239	224	401	199	95	123	131	2,537	3,541	71.6%
	調剤数	208	316	561	423	70	353	290	580	285	146	170	204	3,606	4,943	73.0%

新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、外来の調剤は2020年度より増加したが、2019年度までのレベルにはまだ回復していない。新型コロナワクチン接種により注射処方は増加した。新たに冷凍冷蔵庫を購入し、薬局で新型コロナワクチンの管理を行うとともに、新型コロナワクチンの希釈・分注作業に参加した。また、散剤の秤量時に小数点の表示切替を行わずにすむ電子天秤を購入し、秤量皿での秤量を薬包紙に変更したことで業務の効率化に繋がった。

### ③検査課

#### ア 院内検査

##### 外来・短期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	31	55	51	33	64	39	44	42	39	23	13	27	461	376	122.6%
血算	41	60	55	66	66	50	50	44	48	24	65	31	600	594	101.0%
血液像鏡検	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	300.0%
電解質	25	26	49	30	18	33	38	27	28	15	14	24	327	589	55.5%
迅速血糖（課内のみ）	1	1	2	2	2	2	1	5	0	1	0	0	17	17	100.0%
血中薬物濃度	10	37	44	34	19	25	29	24	13	13	8	29	285	333	85.6%
血液ガス分析	11	25	22	0	4	1	9	10	12	4	2	5	105	92	114.1%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
尿定性	20	35	42	46	38	14	30	12	9	5	58	8	317	303	104.6%
尿沈渣	13	32	39	22	21	12	25	10	8	3	5	7	197	191	103.1%
迅速検査	13	16	4	15	26	13	10	23	25	3	7	4	159	118	134.7%
新型コロナ遺伝子検査						3	7	6	6	31	63	103	219		
肝炎ウイルス検査	3	0	3	0	0	3	3	3	0	2	0	3	20	23	87.0%
心電図	4	24	17	29	12	2	6	4	1	1	10	2	112	105	106.7%
脳波	6	1	1	5	10	6	9	7	4	8	3	5	65	58	112.1%
合計	179	312	330	282	281	204	261	217	193	133	248	248	2,888	2,800	103.1%

##### 入院・長期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	58	51	82	94	75	61	76	87	57	39	44	54	778	912	85.3%
血算	58	51	87	94	76	62	78	89	62	40	47	55	799	934	85.5%
血液像鏡検	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	5	1	500.0%
電解質	23	26	51	49	53	34	53	58	42	22	22	24	457	425	107.5%
迅速血糖（課内のみ）	1	1	2	2	4	4	14	2	0	0	0	0	30	19	157.9%
血中薬物濃度	10	5	15	12	43	30	24	19	10	9	6	19	202	185	109.2%
血液ガス分析	3	6	29	26	26	14	22	25	17	6	5	12	191	169	113.0%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
尿定性	6	4	16	13	34	29	23	20	6	6	5	3	165	161	102.3%
尿沈渣	6	4	16	13	34	29	23	20	5	5	4	3	162	156	103.8%
迅速検査	5	3	20	32	11	9	20	10	4	8	3	3	128	165	77.5%
新型コロナ遺伝子検査						0	7	4	4	1	1	35	52		
肝炎ウイルス検査	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9	0	0	18	9	200.0%
心電図	3	0	4	18	17	17	23	13	4	0	1	1	101	85	118.8%
脳波	2	0	0	0	2	3	0	1	1	0	0	1	10	12	83.3%
合計	175	151	323	353	375	293	363	357	215	145	138	210	3,098	3,234	95.8%

#### イ 外注検査

##### 外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	64	98	111	90	74	73	72	65	76	92	84	97	996	891	111.6%
細菌培養	24	55	49	27	26	29	9	16	11	1	3	6	256	645	36.7%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	88	153	160	117	100	102	81	81	87	93	87	103	1,252	1,536	80.1%

##### 入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	38	25	75	62	130	95	114	108	64	74	29	52	866	771	115.2%
細菌培養	17	13	20	21	46	41	36	39	14	9	8	10	274	304	90.1%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	8	25.0%
合計	55	38	95	83	176	136	151	148	78	83	37	62	1,142	1,075	108.3%

新型コロナウイルス感染症の流行による外出の制限などで検査件数が減少した 2020 年度と比較し、2021 年度は外来・短期入所や外部健診は微増した。

入院・長期入所では血中薬物濃度の件数が増加し、コントロールが必要な利用者の診断の補助に迅速に対応でき、本検査の必要性を改めて実感した。

5月に安全キャビネットが導入され、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減し、安全に検査を行うことができるようになった。また、9月には新型コロナ遺伝子検査装置が導入され、PCR と同等の精度の検査が可能となった。冬季より、短期入所者全員の検査を実施、当センターで新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まった時は迅速に対応した。今後も不可欠な検査になることが予想される。外注検査でも、新型コロナ PCR 検査の提出が増え、時間外での提出にも対応してもらうことができた。脳波検査は減少傾向にある。2021 年度は

緊急検査が多く、長時間記録することが増えた。

#### ④放射線課

##### 外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	8	40	44	3	0	5	8	8	1	2	0	5	124	114	108.8%
一般撮影	20	83	62	65	50	34	34	28	25	24	29	40	494	481	102.7%
ポータブル撮影	10	5	3	7	3	0	4	2	3	1	5	3	46	39	117.9%
透視検査(内視鏡含む)	13	9	12	16	10	13	14	9	19	7	14	15	151	129	117.1%
超音波検査	1	1	3	0	2	1	2	1	0	1	2	0	14	18	77.8%
画像ファイル	8	4	6	8	3	2	7	10	8	4	1	10	71	64	110.9%
歯科デンタル	3	2	4	4	7	6	3	4	2	3	7	3	48	35	137.1%
合計	63	144	134	103	75	61	72	62	58	42	58	76	948	880	107.7%

##### 入院

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	9	3	12	10	39	57	67	48	11	16	7	13	292	265	110.2%
一般撮影	4	1	2	2	0	2	3	0	0	0	0	6	20	41	48.8%
ポータブル撮影	53	45	82	77	94	78	110	106	77	32	21	51	826	908	91.0%
透視検査(内視鏡含む)	37	36	42	28	32	42	36	40	40	38	27	48	446	472	94.5%
超音波検査	7	8	6	7	9	11	17	17	31	4	3	6	126	102	123.5%
画像ファイル	2	1	1	5	2	1	3	3	2	2	0	0	22	17	129.4%
歯科デンタル	1	1	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	7	2	350.0%
合計	113	95	146	130	176	191	236	215	163	92	58	124	1,739	1,807	96.2%

センターの新型コロナウイルス感染症感染防止対策の効果により、体調を崩す(肺炎など)利用者が少なくなり、撮影数が減少したと思われる。しかし、全体の件数は前年度と大きな差はなかった。

#### ⑤栄養課

##### ア 入所食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	3,185	3,266	3,178	3,221	3,230	3,111	3,149	2,984	3,245	2,916	2,514	2,942	36,941	48,959	75.5%
胃瘻食昼	740	770	760	743	757	763	846	750	788	732	694	763	9,106	8,868	102.7%
胃瘻食夕	320	398	350	339	341	366	394	339	355	296	276	289	4,063	3,867	105.1%
経管栄養食	10,939	11,693	11,038	11,281	11,148	10,942	11,414	11,201	11,539	11,109	9,817	10,959	133,080	131,842	100.9%
泊なし短期	4	4	1	6	1	0	0	2	0	1	1	0	20	35	57.1%
嚥下外来食	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	9	44.4%

##### イ 特別治療食数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
加算食	480	496	492	527	527	507	513	499	526	526	476	526	6,095	5,474	102.0%

##### ウ 栄養指導実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来加算	2	5	4	6	1	3	2	3	3	5	2	4	40	21	190.5%
外来非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
入院時加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院時非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

##### エ 栄養サポートチーム(NST)実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新介入	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	50.0%
介入中	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9	4	225.0%
回診数	1	1	1	1	1	2	1	1	1	0	0	0	10	6	166.7%
介入終了	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	200.0%

##### オ 通所食数の実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	67	59	78	69	73	77	74	57	75	62	51	83	825	723	114.1%
胃瘻食	193	162	191	177	171	159	174	133	131	123	107	133	1,854	1,930	96.1%
合計	260	221	269	246	244	236	248	190	206	185	158	216	2,679	2,653	101.0%

カ 放課後等デイサービス食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
昼食(経口食)	7	0	3	16	41	22	2	0	9	14	0	29	143	203	70.4%
昼食(胃瘻食)	29	0	1	12	32	14	3	0	6	7	0	16	120	44	272.7%
間食	65	56	68	39	50	54	71	70	74	60	52	76	735	546	134.6%

キ 訪問栄養指導の実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
巡回相談	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
健康相談個別	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	

コロナ禍において、給食数は前年比を上回った(入所+2.3%、通所+1%)後半1~3月は減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の第6派の到来・短期利用の縮小や病棟閉鎖の影響であると考えられる。短期利用は、胃瘻職(夕食)が増加傾向(+5.1%)にあり、在宅での取り組みがうかがえる。

外来栄養指導数は、2020年度を大幅に上回った。新規10件含み40件実施した。内訳は、対面指導が37件、電話指導が3件となっている。内容は、「コロナ禍が続く中、活動量の低下により体重増加傾向がみられた」現在3件が指導中である。

訪問栄養指導は、「グループホームの食事と利用者の栄養管理について」とし、施設長や職員へ健康食とは何かをオンラインにて情報発信した。

(3) 居住支援部門

①長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所	A棟(25名)	750	775	750	775	775	750	775	775	775	700	775	9,125	9,125	100.0%
	B棟(26名)	780	806	780	806	806	780	806	806	806	728	806	9,490	9,345	101.6%
	C棟(36名)	1,080	1,116	1,080	1,099	1,085	1,050	1,092	1,080	1,116	1,116	1,008	13,038	12,957	100.6%
	合計(87名)	2,610	2,697	2,610	2,680	2,666	2,580	2,673	2,610	2,697	2,697	2,436	2,697	31,653	31,427
占床率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%	98.9%	98.9%	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%	99.0%	

2021年9月に緊急事態宣言が解除され、長期入所者のご家族との対面面会を制限付きで開始した。しかし、2022年1月にまん延防止等重点措置が発令され、再度対面面会を中止し、リモート面会のみとなった。2月より長期入所者の3回目ワクチン接種を開始し、3月で全入所者の接種が完了した。副反応は、発熱者が複数発生した。利用者の活動については、人数を制限してデイルームや居室を利用して行った。家族への支援としては、以前から行っている利用者の生活写真をコメント付きで郵送した。

②日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	63	63	73	63	69	65	67	67	63	35	個別のみ	個別活動 お楽しみ活動	628	762	82.4%
参加人数(人)	255	281	347	276	303	297	287	284	286	155	0	161	2,771	3,337	83.0%

2020年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行いながら、棟ごと、短期ごとの活動を行った。後期の途中までは日活菜園や活動で作成した作品を飾り、作品展を鑑賞しながらの散歩、たちほどがやとZoomの交流を行うなど、新たな活動を取り入れながら実施した。しかし1月中旬頃より、新型コロナウイルス感染症感染防止対策から、日中活動スタッフの棟間の行き来が中止となり、個々での棟の応援に入り、活動は一時中止となった。棟の応援に入りながら、活動の方法を考え、空いた時間の工夫から個別の関わりを持ち、実施回数は減ったが、3月からは、テーマを決め、個別活動を中心に活動の再開へと繋がった。

2021年度内で計画していた、お楽しみ活動は、スタッフが集まることが出来なかったため、必ずしも希望通りの活動とはいかなかったが、3月中に全員にお楽しみ活動を提供した(体調

不良者を除く)。今後も日中活動のスタッフが棟間を交差しての活動は難しくなることが考えられる。しかし今回行った関わりの工夫や活動の工夫から、活動が続けられる工夫が必要だと考える。短期入所者に対しても活動の場が途切れないようにすることも検討する。引き続き、様々な想定をしながら準備を行い、通常の活動へ戻った際にもスムーズに移行できるよう、周知や準備をしていながら、2022年度も活動の場の提供を行っていく。



日中活動①



日中活動②



日中活動③

### ③ほのぼの祭

2021年度のほのぼの祭は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、利用者と職員のみで開催した。多目的ホールの使用を時間で区切り、部署ごとにホールへ集合して活動を行った。

ホールでは、「みんなで作るほのぼの祭アート」の作成や各部署紹介の掲示、フォトスポットでの写真撮影、家族からのメッセージカードの展示を催し物とし、利用者を楽しんでもらえる企画を開催した。居室で過ごしている利用者には、「ほのぼのラジオ」という館内放送設備を利用し、家族からのメッセージカードの代読放送を行った。ほのぼの祭委員をラジオDJ役として、ほのぼの祭の説明や、現在のホールの様子を生放送でリアルタイムに伝えることで、ホールにいない時間帯でも楽しく過ごせるように工夫をした。また、今回は初の試みとして、当日の様子を撮影した動画を編集してユーチューブに載せ、参加できなかった家族に視聴が可能な環境作りをした。ユーチューブには、利用者の家族からのコメントが多数寄せられており、大きな反響があった。また、メッセージカードには面会ができず、会えない我が子への家族の熱い思いが綴られており、利用者だけでなく、職員も家族の熱い思いを共有できた。

施設利用者は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、なかなか棟から出られない日々が続いている中、久しぶりにみんなでホールに集合して行えた活動であった。

以前のような大きな祭りではなかったが、アットホームで、笑顔のこぼれる、文字通り「ほのぼの」としたお祭りとなった。



ほのぼの祭り①



ほのぼの祭り②



ほのぼの祭り③



ほのぼの祭り④

(4) 在宅支援部門

①短期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
短期入所 (延数)	A棟(5名)	161	161	165	158	166	163	168	144	170	135	83	146	1,820	1,669	109.0%
	B棟(4名)	124	140	138	133	136	131	144	132	139	62	32	52	1,363	1,457	93.5%
	C棟(6名)	161	181	165	173	191	169	185	176	177	109	125	125	1,937	1,784	108.6%
	合計(15名)	446	482	468	464	493	463	497	452	486	306	240	323	5,120	4,910	104.3%
占床率(%)	99.1%	103.7%	104.0%	99.8%	106.0%	102.9%	106.9%	100.4%	104.5%	65.8%	57.1%	69.5%	93.5%	89.7%	104.3%	
申し込み(件数)	96	84	97	90	117	97	106	96	102	93	79	77	1,134	1,137	99.7%	
利用不可(件数)※	14	14	13	13	28	16	23	14	26	25	16	4	206	123	167.5%	

※満床等の理由により入所対応ができなかった件数

後期の前半は、新型コロナウイルス感染症の拡大も落ち着いていたが、1月より短期入所中のコロナ陽性者の判明と職員の家庭内感染等による出勤停止者が多数発生したことにより、棟内での対応が厳しくなったため、他部署からの応援と一部短期入所の縮減により乗り越えてきた。短期入所中に判明した短期入所者の新型コロナウイルス陽性者については、その日のうちに外部の病院に転院し、同室の短期入所者については陰性であるが濃厚接触者扱いとなり家族の同意のもと退所した。まん延防止期間中は、短期入所者からのキャンセルも多数発生した。年間稼働率としては、前年を上回る結果となった。

②入院利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年上期合計	前年上期比
C棟(3名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0.0%
占床率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	

③生活介護(通所)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
在籍者数	45	45	45	45	45	45	45	43	43	43	43	42	44	43	101.7%
通所日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	243	99.6%
通所者数	393	342	418	384	381	372	342	293	301	261	223	299	4,009	4,275	93.8%
電話支援	42	39	49	44	54	44	42	28	32	47	68	71	560	907	61.7%
欠席者数	125	108	131	115	148	123	123	122	112	116	134	143	1,500	1,280	117.2%
1日平均通所者	18.7	19.0	19.0	19.2	18.1	18.6	18.3	16.1	16.7	16.2	16.2	16.8	17.7	18.9	93.7%

10月末に当センターへ1名、センター港南へ1名が長期入所となり退籍、2月19日に1名逝去し、退籍となった。

現在も新型コロナウイルス感染症感染防止のため、自粛している利用者が6名いる。また、併用施設の閉所や施設利用者の家族が陽性又は濃厚接触者となり、施設の利用を中止した利



用者が多数いた。また、職員の新型コロナウイルス陽性者や職員の家族が陽性又は濃厚接触者扱いとなり、保育園の休園等により職員の出勤停止者が多数いた。利用者へは、可能な限り、朝と夕方の2回の電話で健康状態や困りごとがないか等を確認することによる在宅支援を行った。目標値を19名/日としていたが、電話での在宅支援を含めて17.7名/日となり、目標達成には至らなかった。

また、通所した際、床で過ごしていた利用者2名が、気管切開となり、ベッドで過ごすようになった。通所にはベッド数が16台しかなく、これ以上の設置は難しいため、今後の受け入れも考えていかななくてはならない。利用実績と新型コロナウイルス感染症の感染防止対策、施設利用者の重症化、新規利用者等の受け入れ、送迎等の課題がある。課題解決に向けて、今後取り組んでいく。

施設活動の制約がある中、職員が工夫をしたイベントを1週間実施し、個別で全員が参加できるようにした。書道パフォーマンスを1週間行なうことで、1枚の紙に全員の言葉や書道が書かれ、みんなで1つのものを完成させる活動ができた。3月には、納め会週間とし、ハーバリウムを作製し、今年度の記念品とした。今後、テラスにタープが設置されたのち、更に活動内容を検討していく。

生活介護事業は、家庭、併用施設など、利用者1人ひとりの生活に直結しており、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを大きく受ける。2021年度、閉所することなく運営できたのは、利用者や利用者家族の協力、当センターの新型コロナウイルス感染症感染防止対策、そして、職員1人ひとりの感染防止対策といった責任ある行動のおかげである。



書道パフォーマンス①



書道パフォーマンス②



書道パフォーマンス③



記念品：ハーバリウム完成



ファッションショー：ランウェイ

## ④訪問看護ステーションえーる

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数(件)	152	162	181	177	175	177	176	171	153	102	135	175	1,936	1,930	100.3%
電話支援(件)	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	0	0	6	10.0	60.0%
1日平均	7.2	9.0	8.2	8.9	8.4	8.9	8.4	8.6	7.7	5.5	7.5	8.0	8.0	7.9	100.9%
リハ同行数	17	17	15	21	17	13	14	13	10	12	12	11	172	152	113.2%

目標値を165件/月としていたが、職員の新型コロナウイルス感染症の発症により4日間閉所した。また、市中感染が拡がり利用者側のキャンセルも多かったため、月平均は161件となり、目標達成には至らなかった。他施設の休園により、どこにも通所できない利用者の訪問看護へのニーズが高まり、臨時訪問が増えた。新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者やPCR陽性者宅にも訪問し、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底した。

## ⑤居宅介護課(まいはーと)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数	660	579	682	626	594	694	650	637	702	517	527	655	7,523	7,353	102.3%
1日平均	31.4	32.2	31.0	31.3	28.3	34.7	30.9	31.9	35.1	27.2	29.3	29.8	31.1	27.9	111.7%

新型コロナウイルス感染症の感染者が発生したことにより、併用施設が閉所中は訪問ができなかったこと、長期利用者の移動支援(散歩)が、雨天の場合は中止となってしまうこと等で、2021年度も訪問のキャンセルが多かった。特に2021年度の後半は月のキャンセル数が100件以上続いた。月の平均訪問数は627件/月で、目標の650件には届かなかったが、振替等をできるだけ行い、訪問数を確保するよう努めた。

## ⑥放課後等デイサービスはみんぐ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	96	82	106	78	82	85	89	84	87	72	65	100	1,026	1,022	100.4%
電話支援	4	5	3	21	22	15	14	15	10	23	24	9	165		
1日平均	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	5.0	4.9	5.0	4.9	5.0	4.9	4.2	117.0%

電話支援と振替参加を組み合わせながら、出席率の確保に努めた。

新型コロナウイルス感染症感染防止対策に注力し、はみんぐ内での新型コロナウイルス感染者を発生させなかったことが高い出席率につながった。

## ⑦送迎事業

2021年度は、登校日204日、登校202回、下校199回、計401回の送迎を行った。2020年度と比べて送迎件数が53回多かった。

前期は支援学校での新型コロナウイルス感染者の増加に伴う夏休みの延長があったが、後期は通常通り通学できた。送迎児の健康状態も安定していた。

## ⑧医療福祉相談室

## 相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話(メール)	221	247	313	236	268	289	316	309	339	289	308	439	3,574	2,528	141.4%
来所	35	55	66	48	32	47	58	46	47	49	34	45	562	362	155.2%
訪問等	14	2	14	6	9	9	21	28	32	48	38	33	254	211	120.4%
合計	270	304	393	290	309	345	395	383	418	386	380	517	4,390	3,101	141.6%

## 短期入所調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	96	84	97	90	117	97	106	96	102	93	79	77	1,134	1,137	99.7%
利用件数	76	68	76	74	78	74	80	78	73	44	40	59	820	852	96.2%
利用不可※1	14	13	13	11	24	10	20	11	25	25	16	2	184	123	149.6%
キャンセル※2	7	2	8	3	11	7	3	4	3	2	14	7	71	151	47.0%

※1 満床等の理由により入所対応ができなかった件数

※2 利用者からのキャンセル数

## 計画相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
総契約数	111	111	111	112	112	114	117	118	119	119	119	119	1382	1351	102.3%
立案数	4	5	0	6	3	6	9	9	2	9	5	5	63	89	70.8%
モニタリング数	7	9	4	12	10	6	9	10	8	64	7	9	155	98	158.2%
合計	11	14	4	18	13	12	18	19	10	73	12	14	218	187	116.6%

2020年度に比べ相談件数が1,000件以上増加した。2020年度は相談員の欠員状況が深刻となり新規の診療希望を一時休止したため、社会生活が自粛モードという新型コロナの感染拡大状況に準じて相談件数も減少したと考えられる。2021年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況が常態化したことで、蔓延防止措置の期間等、感染拡大が著しくとも相談が減ることはなかった。特に下半期における相談件数の増加が顕著であり、進学・進級に向かう過程での転居や福祉関係機関・医療機関の移行のタイミングで様々な相談があった。

児童精神科の初診には相談員が同席し、状況を把握した上で必要性があれば継続的支援に繋げた。小児科・内科・リハビリのケースにおいても家族支援や関係機関との連携に努めている。

短期入所は、新型コロナウイルス関連と棟の職員の欠員を要因として空床状況が顕著な年であった。棟の利用者や職員に新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した期間は、短期入所を一時的に休止するに至り、利用日直前の入所不可の連絡やその後の調整に対応を要した。利用者及び近親者等で発熱者が出るなどによるキャンセルも増加し、他利用者への入所調整や棟・医師との調整を行い、できる限り空床を減らすよう働きかけをした。また入所日に核酸増幅検査を実施することとなり、入所時間の調整に苦慮したが、2022年度も引き続き同様の対応が必要である。

計画相談については、相談支援専門員の充足により2020年度に止めていた新規の再開が進められた。当センターの入所・通所利用者に留まらず地域のニーズに応えられるようになったことは在宅支援に大きな意味があると考えられる。

## (5) 安全管理部門

### インシデント・アクシデント件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
レベル	0	12	5	12	4	4	9	2	4	7	2	3	3	67	64	104.7%
	1	15	32	29	27	29	26	22	20	16	16	12	16	260	342	76.0%
	2	7	20	20	11	9	14	18	13	13	10	9	17	161	170	94.7%
	3-a	0	5	6	7	1	5	3	1	3	2	3	9	45	37	121.6%
	3-b	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	4	5	80.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

2021度前半は2020度より件数が多いが、後半人員不足にもかかわらず、件数が少なくなった。新規コネクター変更に伴うテクニカルな課題もクリアし、ドレーン・チューブのイン

シデント件数は2020年度より22件減少した。個人情報漏洩では、USBメモリーによる持ち帰りの事象があり、全職員へ具体的に情報を開示し事故防止に繋げた。栄養部門での誤配膳は11件、すべて棟内レベル0で発見できている。栄養課の課題はあるが、棟内での手順の遵守ができていて高く評価したい。安全対策部会では、センター内の転倒・転落物品ラウンドを実施し、災害時を含めた環境整備に繋ぐことが出来た。毎年実施している医療安全週間の取り組み<5S>については、各部署の取り組み実施が新聞として掲載され好評であった。車椅子への記名ネームプレートが決定し、長期利用者車椅子左アームに取り付けた。

#### 新型コロナウイルスワクチン接種件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年上期合計	前年上期比
接種件数	121	473	188	797	897	908	153	20		269	248	344	4,418		

利用者と職員、職員家族、横浜市のホームページに登録し広く新型コロナワクチン3回目の接種を行った。スタッフが濃厚接触・陽性になった場合の対応については、細かく具体的な内容で配信した。外来利用者・職員が体調不良、または濃厚接触者となった場合の院内サービスの利用や勤務の可否の個別判断には困難な場面が多かったが、週1回の感染本部会議での情報共有や感染防止対策によりクラスターが発生する事はなかった。利用者が陽性・濃厚接触者となった場合、限られたスペースでのゾーニングを事前に検証していたこと、また日々のトレーニングの積み重ねや発症時の感染物品の整備をしてきたことが迅速な対応に繋がって感染拡大防止ができた。当該部署の職員をはじめセンター内の職員が一丸となり、当該部署を支える体制、及び保健所などの行政機関とも連携がうまくできた。

### (6) 管理部門

#### ①管理課

##### 職員採用状況

職種	医師	看護師	准看護師	看護助手	歯科医師	歯科衛生士	事務クーク	事務員	生活支援員	調理員	日当直医師	薬剤師	薬剤事務員	理学療法士	臨床心理士	運転員	登録ヘルパー	保育士	洗濯員
採用者	5	17	1	3	0	2	1	1	5	1	4	0	2	1	1	2	0	0	1
退職者	5	18	1	3	1	2	1	1	9	0	4	1	1	2	0	0	6	1	1

各職種で欠員状態が続くとともに、その人材確保は非常に困難であった。

#### ②施設整備

##### 正面玄関屋根設置工事

開設当初より、雨に濡れることなく館内に入れるようにして欲しいとの意見があり、社会福祉法人神奈川県共同募金会より配分決定ののち、正面玄関屋根設置工事を実施した。正面玄関の屋根の範囲を拡大し、駐車スペースを4台分に広げた事により、雨天時に順番に停車し乗降することで、多くの利用者が雨に濡れずに入館できるようになった。



### リハビリ事務室の拡大

新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、リハビリ事務室の三つを回避するため、作業療法室を回収し、リハビリ事務室をおよそ倍の広さに拡大した。リハビリ事務室拡大に伴い、カルテ庫及びリハビリ事務室として使用していた部屋をリハビリの訓練室に改修した。

### 駐車スペースの拡大

駐車場が満車になる事が多々あり、ご利用者様より、駐車スペースの拡大の意見を頂いていた。外部駐車場を借り、車通勤の職員に外部駐車場を利用頂く事で、ご利用者様の駐車スペースを確保した。外部駐車場の借上げ以降、目立った満車は発生していない。

### ③保育室ひかり

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	229	253	285	254	202	269	325	323	331	211	268	296	3,246	3,521	92.2%
1日平均	9.2	11.0	11.0	10.2	8.1	11.2	13.0	13.4	13.7	9.1	11.6	11.8	11.1	12.1	92.1%
一時保育利用児総数	0	0	1	1	1	0	1	0	1	1	2	0	8	0	

2020年度と比べ2021年度は0歳児が0人、1・2歳児12名のスタートとなった。ようやく10月に0歳児3名入所となり18名となる。また、3月に2歳児1名が入所し、定員の19名となった。新型コロナウイルス感染症の拡大のため、2020年度は親子の行事が開催できなかった。2021年度は親子の行事を一つでも開催し、日頃の様子を保護者に知ってもらえるよう「お楽しみ会」を実施した。1歳児、2歳児と1クラスごとに入れ替え制にして、その間も消毒作業をしっかりと行い、安心して参加してもらえるように工夫した。短い時間ではあったが、保護者にも喜んでもらい楽しい親子の時間となった。2022年度は屋外での親子の行事を検討し、保育園としての親子をつなぐ大事な役割を担っていきたい。

### ④病児保育室あさひ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	41	31	71	59	58	44	41	42	46	36	36	28	533	465	114.6%
1日平均	2.0	1.7	3.2	3.0	2.8	2.2	2.0	2.1	2.3	1.9	2.0	1.3	2.2	2.0	

2021年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、「定員数は3世帯」、「医師連絡票の記入はかかりつけ医で行う」など利用に制限を設けたが、年間の利用者数は増加した。要因は、6月～8月にRSウイルスが流行したためである。しかし、1月～3月はまん延防止対策や保育園休園などの影響を受けて、利用者数は減少傾向にあった。今後も社会情勢の影響を大きく受けると考えられるが、感染防止対策を徹底し、安心安全な保育を提供していく。

## IV 地域療育センターあおば

児童発達支援事業等では、利用者及び職員の7名が新型コロナウイルスに感染したが、感染拡大防止策を講じたことによって、施設（クラス）内の感染は防ぐことができた。また、感染拡大時期においては、昼食を摂らずに午前療育のみの運営として運営を継続したが、通園の利用数は依然としてコロナ禍前の水準には戻っていない。

外来診療については、常勤医師が6月から欠員となり、外来集団療育での医師診察が減少したことなどから、診療件数は目標値の93.3%にとどまった。また、リハビリテーションは2020年度比で増加しているが、さらに利用者ニーズに応えられる体制を築いていく。

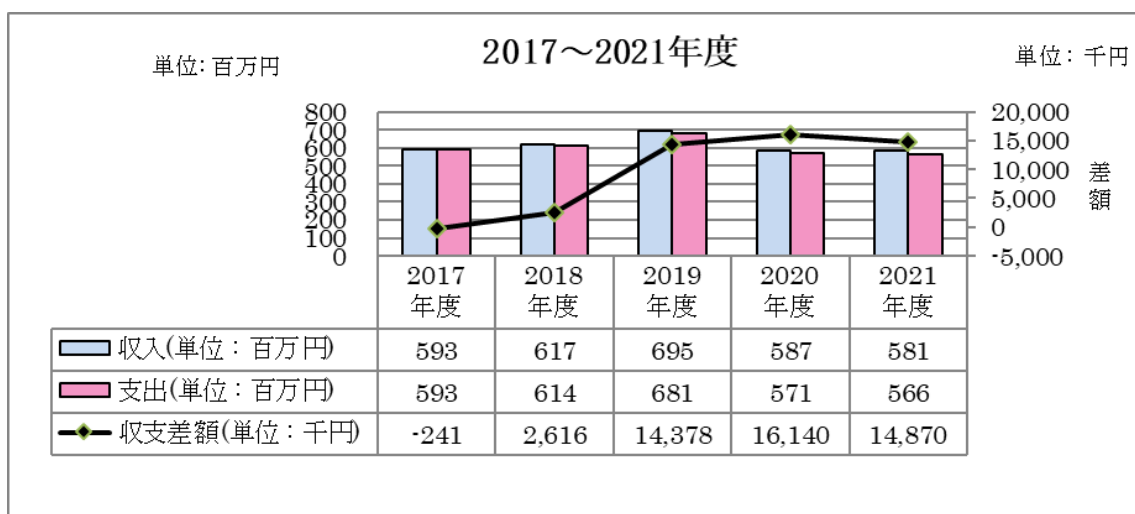
このような運営状況下において、待機期間が長くなる児童に対するアプローチとして「横浜市地域療育センターあり方検討会」の進捗をふまえ、センター内でも検討プロジェクトを設置し、「診療前支援」として「ひろば事業」を開始した。関係機関の協力のもとに試行的に10回開催し、事業内容の工夫や課題の把握に努めた。

各部署の実績は以下のとおりである。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
外来診療	42.0名／日	39.2名／日	93.3%
福祉型児童発達支援	45.0名／日	34.0名／日	75.6%
医療型児童発達支援	18名／日	11.7名／日	65.0%
児童発達支援事業	11.0名／日	9.2名／日	83.6%
障害児相談支援事業	250名	455名	182.0%
保育所等訪問支援	60名	53名	88.3%

### 2 資金収支差額の推移



2019年度から行っている人員定数体制管理、及び経費削減に努めた結果、ここ数年間は比較的安定的な資金収支状況となっている。

### 3 各部署の報告

#### (1) 診療課

##### ① 医師診察

診察件数は、合計で未就学児は 1,412 人、学齢児は 845 人であった。なお、新規診察件数は未就学児が 258 人、学齢児が 85 人の計 343 人と、2021 年度より 30 人増加している。

区 分	新規診療	再 診	計
未就学	258	1,154	1,412
学 齢	85	760	845
合 計	343	1,914	2,257

新型コロナウイルス感染症の拡大により、ある程度の当日キャンセルは発生したが、年間を通して診療所の稼働ができたため、未就学・学齢を合計した実績は全科において 2021 年度を上回った。ただし、新型コロナウイルス感染症が拡大する前の 2019 年度と比較すると、診療数は約 4 割の減少となっている。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
新規診療	発達精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小児神経科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	児童精神科	未就学	1	3	2	2	4	6	4	5	0	2	4	3	36	22	163.6%
		学齢	13	5	12	5	4	2	5	7	13	6	6	6	84	58	144.8%
	小児科	未就学	23	15	21	17	17	14	15	9	15	6	10	14	176	210	83.8%
		学齢	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%
	耳鼻科	未就学	4	1	7	4	4	4	5	4	3	4	2	4	46	43	107.0%
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	摂食外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補装具外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	未就学	28	19	30	23	25	24	24	18	18	12	16	21	258	255	101.2%	
	学齢	13	5	13	5	4	2	5	7	13	6	6	6	85	58	146.6%	
	計	41	24	43	28	29	26	29	25	31	18	22	27	343	313	109.6%	
再診療	発達精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小児神経科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5	20.0%
	児童精神科	未就学	3	2	2	7	5	19	8	10	9	9	29	18	121	68	177.9%
		学齢	19	34	45	52	39	55	45	39	26	30	45	69	498	536	92.9%
	小児科	未就学	40	76	96	59	75	41	68	81	77	65	63	72	813	751	108.3%
		学齢	9	9	17	5	10	2	6	5	5	2	4	8	82	68	120.6%
	耳鼻科	未就学	2	5	13	10	7	6	5	8	9	9	7	12	93	72	129.2%
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%
	摂食外来	未就学	4	0	3	0	2	0	4	0	3	0	3	0	19	12	158.3%
		学齢	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	5	5	100.0%
補装具外来	未就学	7	3	7	7	10	13	10	12	10	0	19	10	108	147	73.5%	
	学齢	24	17	16	13	10	12	10	16	22	0	20	14	174	129	134.9%	
小計	未就学	56	86	121	83	99	79	95	111	108	83	121	112	1154	894	129.1%	
	学齢	52	60	79	70	61	69	61	60	55	32	70	91	760	646	117.6%	
	計	108	146	200	153	160	148	156	171	163	115	191	203	1914	1,540	124.3%	
総計		149	170	243	181	189	174	185	196	194	133	213	230	2257	1,853	121.8%	

##### ② 訓練等

新型コロナウイルス感染症の流行が続いたため、各訓練・相談ごとの換気・消毒の徹

底等、感染防止対策を講じながらの運営となった。

理学療法・作業療法・言語聴覚療法については、8～9月や1～3月の新型コロナウイルス感染症の急拡大により利用児の所属園・校の休園・休校が急増し、訓練のキャンセルが相次いだ。2021年度の途中で訓練枠を見直し増枠を図ったこともあり、2020年度に比べて110～120%の稼働となった。

心理療法については、心理評価以外の継続支援についての来所を再開したが、利用者の希望によっては電話相談での対応も継続した。2021年度から統計の取り方を変更したため2020年度との単純比較は難しいが、統計に含まなくなった業務があるにも拘わらず、ほぼ同数の稼働を示していることから、実質は2020年度を上回る稼働であったと推測される。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
機能訓練	理学療法	未就学	69	79	83	83	84	79	68	90	94	59	73	103	964	949	101.6%
		学齢	70	76	80	71	70	71	66	74	67	64	65	77	851	584	145.7%
	作業療法	未就学	80	99	124	140	110	115	136	152	140	109	130	151	1,486	1,280	116.1%
		学齢	25	22	30	25	31	24	23	23	20	14	27	30	294	322	91.3%
	言語療法	未就学	57	77	89	94	86	88	79	81	83	78	67	87	966	933	103.5%
		学齢	10	4	5	3	10	6	8	9	3	10	5	10	83	57	145.6%
	聴力検査	未就学	16	10	24	18	20	17	22	13	10	14	13	14	191	309	61.8%
		学齢	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	7	71.4%
	合計	未就学	222	265	320	335	300	299	305	336	327	260	283	355	3,607	3,471	103.9%
		学齢	107	102	116	99	112	102	97	106	90	88	97	117	1,233	970	127.1%
計		329	367	436	434	412	401	402	442	417	348	380	472	4,840	4,441	109.0%	
心理指導 (うち心理検査)	心理療法	未就学	75	76	80	107	116	127	148	151	142	130	148	156	1,456	1,413	103.0%
		学齢	25	34	22	20	19	19	16	11	21	18	14	25	244	263	92.8%
	脳波検査	未就学	30	23	27	31	39	38	57	47	44	29	34	32	431	416	103.6%
		学齢	13	19	8	12	8	8	7	7	12	9	7	18	128	122	104.9%
臨床検査	脳波検査	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	脳波聴検	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栄養相談	未就学	3	0	3	2	1	0	2	4	4	4	0	4	27	10	270.0%	
	学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
補装具クリニック		31	20	23	20	20	25	20	28	32	0	39	24	282	22	1281.8%	

### ③外来グループ

新型コロナウイルス感染症による所属園の休園等に伴い、欠席となる児童が多い一年だった。いちごグループでは、参集の他、一部 ZOOM による参加を併せて実施した。

〔くろーばー・たんぽぽの通園児童数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	31	27	36	18	39	17	39	14	21	24	12	13	291	200	145.5%

〔肢体不自由児を対象としたいちごグループの通園児童数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	8	0	17	16	106.3%

### (2) 通園課

新型コロナウイルス感染症感染防止対策として親子参観の分散化、行事等の縮小などを行いながらの療育実施となった。療育を休止する事態はなかったが、2021年8月の緊急事態宣言時、2022年1月のまん延防止等重点措置発令時は療育を短縮し、午前療育を実施す



る期間があった。

その期間、併用先の幼稚園、保育所の休園や利用児とその家族の新型コロナウイルス感染症の感染増加と集団療育の利用を控える家庭もあり、2021年9月、2022年1月、2月の出席率はかなり低い数値となった。しかし、新型コロナウイルス感染症感染防止対策によりクラス内での感染が広がることはなく、3月まで運営を継続することができた。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(平均)	前年度合計(平均)	前年度比
設定日数	福祉型	420	723	869	824	501	813	856	861	656	796	816	560	8,695	9,438	92.1%
	医療型	193	281	327	312	187	302	309	312	243	292	294	222	3,274	3,174	103.2%
	計	613	1,004	1,196	1,136	688	1,115	1,165	1,173	899	1,088	1,110	782	11,969	12,612	94.9%
出席日数 (実績)	福祉型	363	624	735	665	425	642	702	709	576	570	548	465	7,024	6,603	106.4%
	医療型	159	220	242	212	131	228	221	253	196	185	178	180	2,405	2,035	118.2%
	計	522	844	977	877	556	870	923	962	772	755	726	645	9,429	8,638	109.2%
出席率	福祉型	86.4%	86.3%	84.6%	80.7%	84.8%	79.0%	82.0%	82.3%	87.8%	71.6%	67.2%	83.0%	81.3%	70.0%	116.2%
	医療型	82.4%	78.3%	74.0%	67.9%	70.1%	75.5%	71.5%	81.1%	80.7%	63.4%	60.5%	81.1%	73.9%	64.1%	115.2%
	計	84.4%	82.3%	79.3%	74.3%	91.6%	77.2%	76.8%	81.7%	84.2%	67.5%	63.9%	82.1%	78.8%	69.3%	113.7%
在籍児数	福祉型	94	94	94	95	95	96	97	97	98	99	99	99			
	医療型	28	28	28	28	28	29	28	29	29	29	29	29			

### (3) 相談課

#### ①相談業務

学校での面談後、区役所の発達相談を経た直後に当センターへの初回の電話相談が増加する傾向にある。季節の変わり目の相談件数の増加は例年見られる傾向ではあるが、2021年度より全体的に増加した。

コロナ禍で区役所でも発達相談件数は増加していると区の保健師と情報共有しているが、当センターでも同様に増加しており、在宅勤務の保護者が増え子供と向き合う時間が増えたことや、外出や遊びの機会が制限されたことによる経験不足等で発達の遅れや心配となる状態が見られる子供が増えたためではないかと考えられる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	210	213	405	282	249	256	387	349	244	320	381	296	3,592	1,984	181.0%
	学齢	103	118	152	151	87	131	123	114	53	73	75	83	1,263	862	146.5%
面接	未就学	89	96	104	110	94	74	67	65	84	93	134	72	1,082	688	157.3%
	学齢	26	27	25	31	14	23	34	32	16	21	16	28	293	179	163.7%
文書	未就学	16	16	17	13	14	10	6	24	170	38	148	43	515	167	308.4%
	学齢	1	1	8	6	6	1	2	8	3	1	1	6	44	67	65.7%
合計	未就学	315	325	526	405	357	340	460	438	498	451	663	411	5,189	2,839	182.8%
	学齢	130	146	185	188	107	155	159	154	72	95	92	117	1,600	1,108	144.4%

#### ②関係機関調整

全体的な相談件数の増加に伴い他機関とのやり取りが増加している。

計画相談事業について青葉区役所と定期的な打合せを実施している他、区の保健師との定期連絡会や4か月児及び1才6か月児の療育相談等を実施した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	134	204	215	234	156	140	238	224	128	202	159	137	2,171	1,400	155.1%
	学齢	74	90	102	389	76	72	126	120	67	85	53	91	1,345	641	209.8%
来所/ 出張	未就学	6	33	31	25	6	1	18	18	15	14	9	28	204	157	129.9%
	学齢	6	15	9	14	3	0	7	8	3	5	3	0	73	51	143.1%
文書	未就学	0	15	13	10	3	3	0	14	10	3	22	23	116	79	146.8%
	学齢	12	30	18	24	18	11	15	6	11	24	27	58	254	195	130.3%
合計	未就学	140	252	259	269	165	144	256	256	153	219	190	188	2,491	1,636	152.3%
	学齢	92	135	129	427	97	83	148	134	81	114	83	149	1,672	887	188.5%
	総計	232	387	388	696	262	227	404	390	234	333	273	337	4,163	2,523	165.0%

### ③巡回相談

青葉区内の認可保育所、認定こども園、横浜保育室、幼稚園、乳幼児の一時預かり事業、認可外保育施設へ巡回相談の案内を行っている。2021年度は6名のソーシャルワーカーに加え、非常勤作業療法士が同行(17回)した。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として訪問前に園の感染状況を毎回確認してからの実施を調整した。また、緊急事態宣言の発令中は巡回訪問を延期する等の対応をした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育園	2	2	9	5	0	0	6	4	3	2	0	1	34	11	309.1%
幼稚園	2	15	20	9	2	0	3	3	0	2	0	0	56	54	103.7%

### ④障害児相談支援事業（利用計画書作成件数）

新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響は引き続き大きかったものの、2020年度との比較では、やや状況が緩和したことで、保育所等訪問支援の利用及び児童発達支援の利用ともに増加し、計画作成件数等が増加している。

例年どおり2月は2022年度の新規計画相談の時期となるため、計画相談の作成件数が突出している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
計画作成	86	28	11	5	12	9	10	6	4	7	141	2	321	276	116.3%
継続計画作成 (モニタリング)	1	14	7	20	29	8	8	16	16	4	4	7	134	120	111.7%
合計	87	42	18	25	41	17	18	22	20	11	145	9	455	396	114.9%

### ⑤保育所等訪問支援事業

新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響は引き続き大きかったものの、2020年度との比較では、やや状況が緩和したことで、状況に合わせた訪問支援が実施できた。

国の蔓延防止等重点措置の方針に対応し、訪問日の延期や変更等の工夫を図りながら事業を実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育所等訪問事業	0	2	7	9	3	1	6	13	11	1	0	0	53	16	331.3%

### ⑥学校支援事業

コンサルテーション(児童が教室にいる状況での授業参観)は小学校低学年、特に1年生についての要望が多かった。

研修は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、Zoom等オンライン・ツールを活用して実施する回も設ける等の工夫をした。また、中学校ブロックでの研修依頼もあり、小中学校の先生向けの研修も実施した。

実支援学校数	17校
延べ訪問件数	49件
内コンサルテーション	34件
研修	15件

## ⑦地域ニーズ対応事業

### ア 保護者のためのこころのケア相談

2021年度は原則月1回、計13回のこころのケア相談を計画し、感染状況に合わせ12回開催した。

こころのケア相談への導入検討カンファランスは5ケースあり、2ケースが新規導入となった。なお、新規導入に至らなかった3ケースについては、それぞれ「青葉福祉保健センターでの相談利用」「精神保健福祉士同席のもとソーシャルワーカー面談を行い母へ通院を促す」「あおばの担当者で保護者フォローを継続」の対応となった。

また、2021年度からの継続ケースは通園児2ケースであった。

面接	延9件
電話	延2件
カンファランス実施回数	9回
カンファ検討ケース数	19件

### イ あおばであそぼ（広場事業）

広場事業は「子育て支援や療育センターそのものへの理解を深めていただくため、施設を開放し、遊び場を提供することで育児の不安や発達への心配感に寄り添うこと」を目的としている。

青葉区福祉保健センターの発達相談で当センターの広場事業を案内いただき参加された方が全参加者の約75%を占め、必要な方への一定の事業周知が図られている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
あおばであそぼ	8	11	10	7	0	8	8	8	11	12	2	0	85	16	531.3%

## (4) こども支援室こだち

### ①児童発達支援事業所

例年通り5月より療育を開始できたが、8月は緊急事態宣言、1月はまん延防止等重点措置が発令され、こだちの利用児の新型コロナウイルス感染症の感染数が増加、併用先の幼稚園や保育所の相次ぐ休園により、療育を短縮して提供する期間があった。

しかし、2020年度よりも保護者勉強会・交流会など感染対策を講じて実施を再開できたものもあり、3月まで療育を継続することができた。

クラス名	登園日数/週	曜日	4歳	5歳	合計	前年度合計	前年度比
かえて①クラス	1日	月	0	6	6	6	100.0%
かえて②クラス	1日	火	0	6	6	6	100.0%
かえて③クラス	1日	水	0	6	6	6	100.0%
かえて④クラス	1日	木	0	6	6	6	100.0%
かえて⑤クラス	1日	火	0	6	6	6	100.0%
かえて⑥クラス	1日	水	4	2	6	6	100.0%
かえて⑦クラス	1日	木	2	4	6	6	100.0%
かえて⑧クラス	1日	金	0	6	6	6	100.0%
合計			6	42	48	48	100.0%

## ②児童発達支援事業所出席率

2021年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じて、例年通りの5月から療育を開始することができた。8月の緊急事態宣言時、1月のまん延防止等重点措置発令時に喫食の機会を減らすため、療育を短縮したが、出席には大きな影響を及ぼさなかった。

1月、2月については児童とその家族および職員の新型コロナウイルス感染症の感染（疑いも含む）のための欠席、併用先の幼稚園、保育所の休園が相次ぎ、結果出席率が大幅に低下している。しかし、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた結果、クラス内で感染を広げることなく、3月まで運営を継続することができた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	44	146	216	191	107	186	117	181	130	165	170	95	1,748	1,892	92.4%
出席日数 (実績)	44	136	197	170	94	167	96	150	105	122	116	69	1,466	1,580	92.8%
出席率	100.0%	93.2%	91.2%	89.0%	87.9%	89.8%	82.1%	82.9%	80.8%	73.9%	68.2%	72.6%	83.9%	83.5%	100.4%
在席児数	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48			

## (5) 公開講座

### あおば講座

新型コロナの感染状況に対応して、参集しての講座やオンライン講座・動画配信等を組み合わせて実施した。アンケートについてはGoogleフォームを活用して実施することで、記入や集計の負担を減らすよう工夫した。

	公開日	テーマ	講師	申込人数	参加人数
第1回	7月16日	「きょうだい」のこと、考えてみよう(オンライン)	横浜市あんしんマネージャー 瀧澤 久美子	39	36
第2回	7月1日～ 3月31日	幼稚園、保育園との連携(動画配信)	当センター ソーシャルワーカー	23	23
第3回	7月1日～ 3月31日	小学校との連携(動画配信)	当センター ソーシャルワーカー	24	24
第4回	7月1日～ 3月31日	就学に向けて①～いまどきの小学校って?～	当センター心理師	34	34
第5回	8月2日～ 3月31日	わかりやすさって何? ～生活やあそびに活かせる療育のコツ～(動画)	当センター保育士	19	19
特別	10月8日	「自閉症スペクトラムの子どもたちを育てる」 (オンライン+アーカイブ)	当センター作業療法士	138	392
第6回	10月28日	感覚は脳の栄養素 生活を感覚の視点で見よう (オンライン+来所)	当センター作業療法士	27	26
第7回	11月30日	発音の不明瞭さが気になったとき ～その理由や対応における大切なこと～(オンライン+来所)	当センター言語聴覚士	38	29
第8回	12月1日～ 3月31日	就学に向けて②先生方との連携、家庭で気を配りたいこと～(動画配信)	当センター心理師	31	36
第9回	1月17日～ 3月31日	わが子の「宿題」との付き合い方(動画配信)	当センター心理師	18	39
第10回	1月26日	発達障害を知ろう 思春期の自己理解支援～(オンライン+来所)	非常勤医師	32	29

\*参加人数はオンライン視聴数も含む

## (6) 管理課

常勤医師の退職後、後任となるべき医師の不在が続いている。その他、保育士および児童指導員は時期限定の非常勤職員を採用したため、退職数が多くなっているが、2022年度

採用職員により補充されている。

#### 職員採用状況

職種	医師	看護師	臨床心理士	言語聴覚士	保育士	児童指導員	福祉相談員	事務員	理学療法士	作業療法士	合計
採用者	2	3	1	1	4		1	2			14
退職者	1				7	1		1			10

また、2021年度は第三者評価を受審しました。その結果として、子どもの人権に配慮した療育支援や子どもと保護者の地域生活を支援するための取組みについては高評価を得たものの、常勤医師の不在やライン管理職の兼務が常態化していること、職員配置と業務量とのバランスに不均衡を生じていることなど、人材の確保や労働環境の改善に向けた取組みが必要であるとの指摘を受けました。今後、早期に常勤医師を確保するとともに、業務量に見合った職員配置等に努めていきます。

## V たっちほどがや

2021年度もまた、新型コロナウイルス感染症による外出自粛やいずみの及び他法人の運営する施設への通所を休止する状態が継続しており、外出活動は利用者の体調や気象等に配慮しながら、近隣公園への散歩にとどまった。イベントについても、感染状況に配慮しながら、フロアやユニットごとに分散実施した。経常業務では、職員が家庭内感染によって発症または濃厚接触者となって自宅待機となる事例が増加し、業務に支障をきたした。

利用者の状態は、日々の体調変化だけでなく、施設開所から12年が経過している中で、高齢化や重度化が進んでおり、毎日の健康管理や状態に応じた早期通院、緊急入院など、配置医師と看護課との連携によって対応した。

生活介護事業については、新規利用者の受け入れをスムーズに行ったことにより、利用回数は安定した。2020年度と同様に、利用者及び担当職員を2グループに分けることによって感染防止に努めた。また、送迎についても1台の車に2名までとし、送迎の回数を増やした。

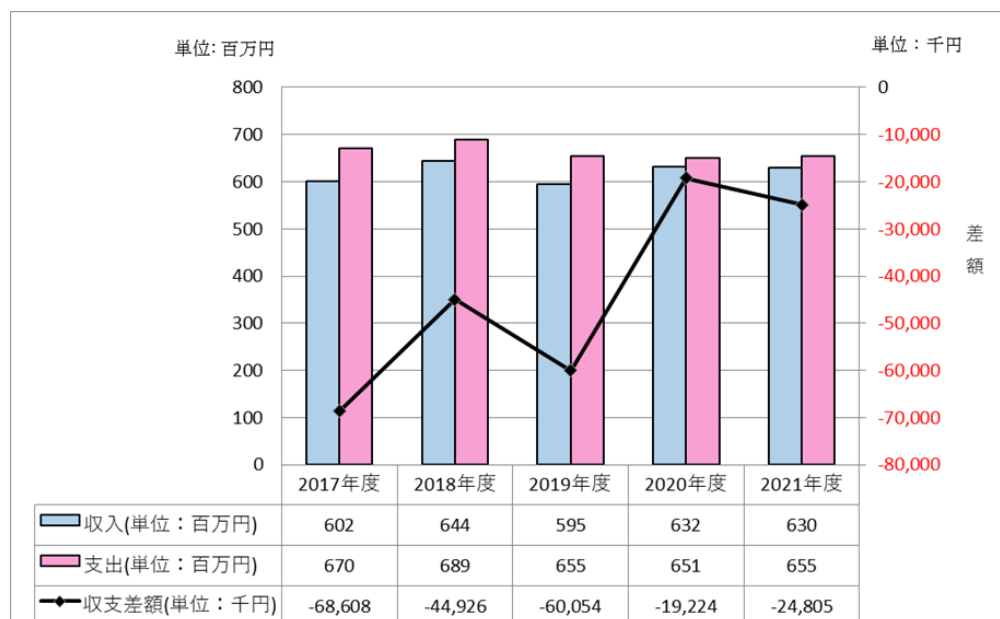
いずみの課については、新規利用者5名を受け入れ、安定した利用回数を維持した。放課後等デイサービス事業については、日々5名の利用者の確保に努めてきたが、利用者の体調不良や新型コロナウイルス感染症による休校等による欠席が多かった。

なお、特別支援学校卒業生の進路先として、いずみのを要望する件数が少なくないため、生活介護事業の拡大展開について検討した。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	41.2名/日	41.9名/日	101.7%
短期入所	7.8名/日	6.9名/日	88.5%
生活介護（通所）	23.5名/日	19.2名/日	81.7%
たっちいずみの生活介護（通所）	19.6名/日	16.6名/日	84.7%
たっちいずみの放課後等デイサービス	4名/日	3.6名/日	90.0%

## 2 資金収支差額の推移



### 【いずみの】

収入単価が下がったことにより、収入が2020年度より下がっている。また、利用者の入替に伴った送迎の燃料費が増加した。

### 【たち全体】

事務費：PCの入替があったため支出が増加した。

事業費：たち内で新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者が発生したことにより、保健衛生費が増加した。

## 3 施設全体の実績

### (1) 入所支援課

#### 入所支援・短期入所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所 42枠	実績数	1,249	1,297	1,260	1,301	1,302	1,260	1,298	1,259	1,289	1,296	1,171	1,302	15,284	14,732	103.7%
	1日平均	41.6	41.8	42.0	42.0	42.0	42.0	41.8	41.9	41.5	41.8	41.8	42.0	41.9	40.4	103.6%
	占床率	99.1	99.6	100.0	99.9	100.0	100.0	99.7	99.9	99.0	99.5	99.6	100.0	99.7	95.9	104.0%
短期入所 8枠	実績数	203	221	218	216	218	180	232	233	236	194	145	214	2,510	2,072	121.1%
	1日平均	6.8	7.1	7.3	7.0	7.0	8.0	7.4	7.7	7.6	6.2	5.1	6.9	7.0	6.0	116.8%
	占床率	84.6	89.1	90.8	87.1	87.9	75.0	93.6	97.1	95.2	78.2	64.7	86.3	85.8	71.4	120.2%
合計 50枠	実績数	1,452	1,518	1,478	1,517	1,520	1,440	1,530	1,492	1,525	1,490	1,316	1,516	17,794	16,804	105.9%
	1日平均	48.4	48.9	49.3	49.0	49.0	50.0	49.3	49.7	49.1	48.1	47.0	48.9	48.9	46.0	106.3%
	占床率	96.8	97.9	98.5	97.9	98.1	96.0	98.7	99.5	98.4	96.1	94.0	97.8	97.5	92.1	105.8%

(2) 計画相談業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規契約件数	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3	5	
計画更新件数	2(1)	1	2	2(2)	3	2	11	7	6(1)	2	2	4	44(4)	42	104.7%
モニタリング件数	5(2)	9	9(1)	3	6	10(1)	3(1)	6	8	8(2)	8	8(1)	83(8)	74	112.1%
合計	7(3)	10	11(1)	5(2)	9	12(1)	15(1)	15	14(1)	10(2)	10	12(1)	130(12)	121	107.4%

( ) 内は児童

(3) 通所・在宅支援課

ほ도가や生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	427	363	454	392	394	394	415	421	395	371	344	423	4,793	4,733	101.3%
1日平均	20.3	20.2	20.6	17.8	18.8	19.7	19.7	19.1	17.1	18.5	19.1	19.2	19.2	19.5	98.5%

(4) たっちいずみの課

① 「和音」 (生活介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	364	312	385	343	310	328	360	330	338	304	269	339	3982	3,702	107.6%
1日平均	17.3	17.3	17.5	17.2	15.5	16.4	17.1	16.5	16.9	16.0	14.9	15.4	16.5	15.2	108.6%

② 「りずむ」 (放課後等デイサービス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	74	69	87	81	75	71	69	70	67	67	56	66	852	871	97.8%
1日平均	3.5	3.8	4.0	4.1	3.8	3.6	3.3	3.5	3.4	3.5	3.1	3	3.5	3.6	97.2%

(5) 地域交流

ボランティア受け入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
活動延べ回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

※新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度は外部ボランティアの受け入れを中止した。

施設内行事

月	行事内容	参加者
7	通所 夏祭り	38名
8	入所 ユニット夏祭り	50名
10	入所 ユニットにこにこ祭	50名
12	入所 ユニットクリスマス会	50名



## 4 各部署の報告

### (1) 入所支援課

施設開所から12年目を迎え、利用者の高齢化と重度化が進んでいる。胃瘻者は合計で5名となっており、吸引が必要な利用者が増加している。医療的ケアの職員研修を随時実施し、資格取得を順次進めた。医療的ケアは日常ケアの一つとなっており、生活を支えていくために支援員の医療的ケアの理解習熟は必要不可欠となっている。

医療体制としては、配置医師が浅野医院の黒田先生に変わってから2年目が経過し、月2回の往診と新型コロナウイルス感染検査等の対策についての指示を行っている。

活動面としては、コロナ禍により自粛することが多く、施設内での体験活動や日中活動において調理活動や近隣公園への散歩等が中心となっていた。ユニット行事は夏祭り、クリスマス会のみ実施し、施設全体行事にこここ祭も入居者のみ参加とし、ユニットごとに参加時間を分けるなど接触がないよう工夫をして行った。いずみの及び他法人の運営する施設への通所については、新型コロナウイルス感染症の感染が懸念されたため、通年を通して欠席となった。

2022年度も新型コロナウイルス感染症感染防止対策と日常生活のバランスを見ながら、家族面会の再開やボランティアの受け入れ、外出制限の緩和など利用者の生活の潤いを取り戻していく。



こここ祭 模擬店準備①



こここ祭 模擬店準備②



こここ祭 模擬店参加①



こここ祭 模擬店参加②



クリスマス会①



クリスマス会②



藍染め作製



石鹼作り①



石鹼作り②

## (2) 在宅・通所支援課

### ①短期入所

コロナ禍が続く中、2020年度より利用件数は増加し、新規の受け入れも安定した。たちほどがや内でPCR検査をする職員や利用者がいた場合受け入れを中止したが、それ以外は受け入れをしていた。感染防止対策も社会情勢を鑑みて、4～9月は3日間居室対応、10～12月はコロナワクチン2回接種済の利用者は1日居室対応、1～3月はワクチンの接種可否問わず、3日居室対応を行い、リビングで過ごさないと対応できない利用者は感染防止対応の日数に応じて1～3日間を自宅で過ごすことを継続したことにより、安心して利用できるように対応していた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	41	46	54	41	47	48	51	43	58	44	59	49	581	559	103.9%
利用件数	35	35	41	38	35	35	41	35	43	30	25	37	430	354	121.4%
利用不可※	3	8	11	3	11	9	9	4	14	15	33	10	130	205	63.4%

※利用不可は、満床等及び新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルやお断りが発生し、入所対応ができなかった件数

### ②計画相談

8月から計画相談員が増加した。2022年3月現在66件（内4件は児童）の利用者数となっている。2021年度も新型コロナウイルス感染症感染防止対策により家庭訪問や面談を行う事が出来ず、電話や書類送付による対応をした。また、担当者会議もリモートでの開催となった。引き続き、法人本部主導の相談支援センターPJに参画した。

長期利用者を、グループホームへの移行に向けた取り組みを行った。

### ③生活介護

引き続き新型コロナウイルス感染症感染防止に配慮しながら安全な通所運営を心掛けた。2月は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したことにより、分散での出席や家族による送迎の協力をお願いした。

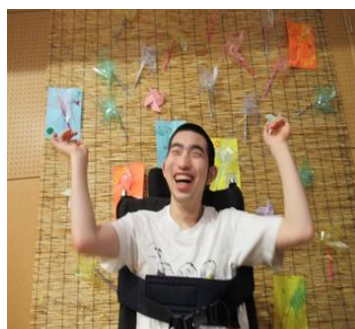
外出や企画調理等、新型コロナウイルス感染症のリスクが伴う活動は2021年度も行えなかったが、「夏を楽しむ会」ではみんなで風車を作成し、新たな活動「秋の体育祭」を実施した。ポッチャとカーリングを組み合わせた「ポッチャリング」を行い、評判も良かった。散歩に行く機会も多く、公園で四季を感じ、地域の人とのふれあいも多少ではあるが行うことができた。

今後も新型コロナウイルス感染症感染防止による制限は続くと予測されるが、引き続き新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、利用者が楽しめる活動を行っていく。



散歩（施設周りや公園へ）

茶話会



夏を楽しむ会



ふれあい活動



ピアノコンサート



秋の体育祭



ボッチャリング①



ボッチャリング②



玉落としゲーム



表彰式



成人を祝う会

### (3) いずみの課

#### ①生活介護

2021年4月より、新規利用者5名の受け入れをした。

新型コロナウイルス感染症感染防止対策から、プールや2021年度末の家族の集いは中止となったが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、通常に近い運営を行った。

職員の欠員状態が続き業務量が増加したことにより、職員の疲労が多く見受けられた。

#### ②放課後等デイサービス

学校の休業や短縮授業などもなく、例年と変わらずに運営することができた。また、職員

も新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、充実した日々を送ることができた。しかし、新型コロナウイルス感染症感染防止対策から、生活介護との交流や活動に制限が生じ、以前に比べて社会体験を積むことが困難な状況になっている。



新入歓迎会



水遊び①



水遊び②



夏祭り



ハロウィン



いずみんピック①



いずみんピック②

#### (4) 管理課

##### 職員採用状況

職種	生活支援員	看護師	福祉相談員	事務員	事務当直員	運転員	合計
採用者	5	1	1		3	4	14
退職者	8	2		1	1	6	18

生活支援員の退職が多かった。退職理由等を精査すると共に今後も採用活動を行っていく。